

基本政策 9

人々のつながりが広がる
文化の香りと平和に包まれたまち

目 次

基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【124】	自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・	300
【125】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・	302
【126】	地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・	304
【127】	社会貢献活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	306
【128】	公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・	308
【129】	公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	310
【130】	区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	312
【131】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・	314
【132】	セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	316
【133】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・・・・	318
【134】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・	320
【135】	日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	322
【136】	自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・	324
【137】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・	326
【138】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	328
【139】	日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	330
【140】	月島特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	332
【141】	自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・	334
【142】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・	336
【143】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	338
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【144】	地域文化活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	340
【145】	郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業・・	342
【146】	文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	344
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【147】	地域間交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	346
【148】	平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	348
【149】	国際交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	350
【150】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・	352

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2	中 事 業 3
自治振興事務 (地域振興課)	中 事 業 4		中 事 業 5	中 事 業 6
	中 事 業 7		中 事 業 8	中 事 業 9
	中 事 業 10		中 事 業 11	中 事 業 12
	中 事 業 13		中 事 業 14	中 事 業 15
	中 事 業 16		中 事 業 17	中 事 業 18

1 事業の目的

・町会・自治会からの各種相談・要望事項を的確に把握し、良好な地域コミュニティの維持形成を図るとともに、区政の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与するため、区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

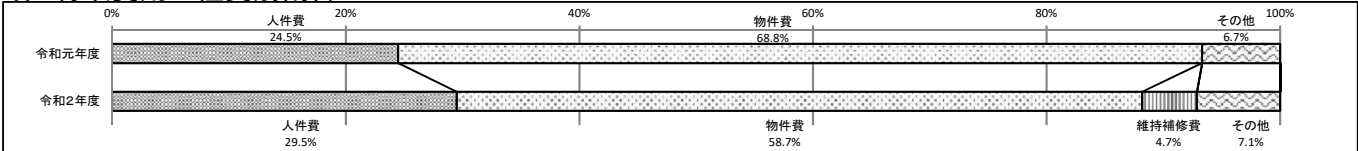
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	15,592,856	22,018,855	6,425,999	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	43,833,627	43,760,866	△72,761		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	3,498,000	3,498,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,777,343	2,777,343	0		その他	284,378	243,375	△41,003
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		284,378	243,375	△41,003
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,475,166	2,538,569	1,063,403	行政収支差額		△63,394,614	△74,350,258	△10,955,644
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		63,678,992	74,593,633	10,914,641	通常収支差額		△63,394,614	△74,350,258	△10,955,644
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△63,394,614	△74,350,258	△10,955,644
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		61,575,906	72,210,640	10,634,734
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△1,818,708	△2,139,618	△320,910

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 38,423,800円 ・施設管理業務等委託 874,319円	決算額の主な内訳	・十思スクエア2階校友会室床改修工事 3,498,000円
主な増減理由	・対象者数増によるコミュニティ推進事務委託料増 517,200円 ・行政懇談会書面開催による運営費皆減 △471,100円 ・東京2020マスコット出演業務委託皆減 △289,980円	主な増減理由	・十思スクエア2階校友会室床改修工事による工事費皆増 3,498,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費(町会倉庫負担分) 243,375円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・使用料減等による光熱水費減 △41,003円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

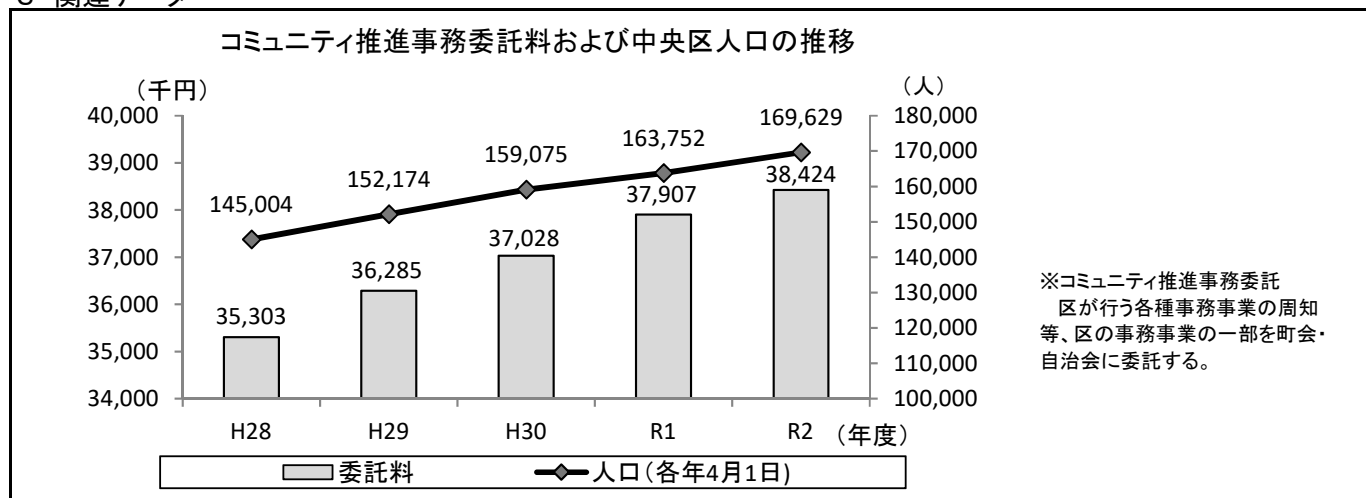
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	931,407	1,074,492	143,085
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	1,770,683	1,770,683	0	特別区債	0	0	0
建物	88,826,554	86,049,211	△2,777,343	退職給与引当金	14,762,682	16,456,604	1,693,922
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	1	1	0	負債の部合計	15,694,089	17,531,096	1,837,007
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	74,903,149	70,288,799	△4,614,350
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	90,597,238	87,819,895	△2,777,343
資産の部 合計	90,597,238	87,819,895	△2,777,343				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・地域集会室他 56,716,946円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 29,332,265円	決算額の 主な内訳	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円
主な 増減理由	・地域集会室他減価償却による減 △1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・軽自動車 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・区が、町会・自治会を通して事業の周知等を行うことにより、区の事業の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与している。また、今後も人口の増加が見込まれているため、コミュニティ推進事務委託料の増加が想定される。

・選手村跡地をはじめとする大規模マンション等における新規団体結成の動向や既存の地域コミュニティとの連携については、コミュニティ連絡相談員を通じて、良好な地域コミュニティの形成を支援していく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各町会・自治会が主催する会議等の実施方法について相談や問合せが増加している。適切な会議や活動の方法を案内することで、社会情勢に応じた地域活動を支援していく必要がある。

・京橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため書面開催となった。

② 今後の方向性

・町会・自治会に対し、コミュニティ推進事務委託をはじめ行政懇談会等のさまざまな機会を捉えて、区の事業を普及発展させ、地域コミュニティを活性化していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じて、町会・自治会からの相談や要望等、地域コミュニティに関する動向をよりの確に把握するとともに、新規団体結成時に適切な支援を行うことで良好なコミュニティの維持形成を図る。

・各町会・自治会の相談や問合せへの対応を行うとともに、区ホームページや「中央区町会・自治会ネット」等を活用しながら、適切な会議や活動の方法を情報発信し、地域活動が円滑に運営されるよう働きかける。

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	中 事 業 2	町会・自治会活動支援	中 事 業 3	町会・自治会ネットワークづくり
コミュニティ活動支援事業 (地域振興課)	中 事 業 4	地域手づくりイベント推進助成	中 事 業 5	地域の盆おどりに対する助成	中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会・自治会への加入促進を図るチラシの作成や活動を紹介する情報誌の発行等を行うとともに、地域におけるつながりづくりや地域活動の「担い手」を養成するための講座を開催する。
・各町会・自治会の情報発信および連携を促進し、ネットワークづくりを支援するため「町会・自治会ネット」を運用する。さらに、町会・自治会による「手づくり行事」や「盆踊り大会」の実施を支援するとともに、町会・自治会館等の整備費や賃借料の一部を助成する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

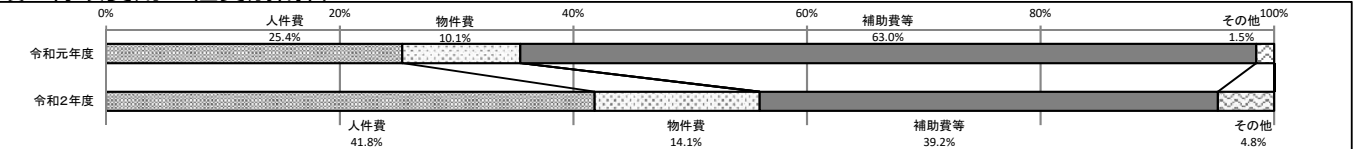
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	10,255,262	10,223,040	△32,222	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	4,084,800	3,454,453	△630,347		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	25,485,000	9,588,000	△15,897,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,500,000	1,600,000	△900,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		2,500,000	1,600,000	△900,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	620,938	1,178,621	557,683	行政収支差額		△37,946,000	△22,844,114	15,101,886
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		40,446,000	24,444,114	△16,001,886	通常収支差額		△37,946,000	△22,844,114	15,101,886
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△35,793,700	△22,844,114	12,949,586
特別収入		2,152,300	0	△2,152,300	一般財源充当調整		39,087,573	23,140,201	△15,947,372
特別収支差額		2,152,300	0	△2,152,300	再計(一般財源調整後)		3,293,873	296,087	△2,997,786

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・中央区コミュニティ施設賃借料助成金 6,291,000円 ・コミュニティ助成事業助成金 1,600,000円 ・中央区コミュニティ施設整備事業助成金 1,295,000円	決算額の主な内訳	・中央区町会・自治会ネットの運営委託 1,243,000円 ・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,001,000円 ・「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 883,400円
主な増減理由	・地域盆おどり大会実施団体皆減(34団体)による補助金皆減 △7,300,000円 ・地域手づくりイベント実施件数減(44件)による補助金減 △6,719,000円	主な増減理由	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」の仕様変更に伴う委託料減 △517,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 1,600,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・コミュニティ助成事業の対象団体変更による事業費減に伴う助成費減 △900,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	620,938	498,871	△122,067
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	9,841,788	7,640,566	△2,201,222
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	10,462,726	8,139,437	△2,323,289
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△10,462,726	△8,139,437	2,323,289
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

項目	H30	R1	R2
コミュニティ施設の整備費等助成(件)	31	32	28
地域手づくりイベント推進助成対象団体数(団体)	63	63	63
地域手づくりイベント推進助成助成団体数(団体)	35	33	4
地域手づくりイベント推進助成助成件数(件)	50	48	4
地域盆おどり大会助成件数(件)	27	34	0

○担い手養成プログラムの主な内容

- 事前説明会(全1回)
- 担い手養成塾(全6回)
- 修了生フォローアップ講座(全4回)

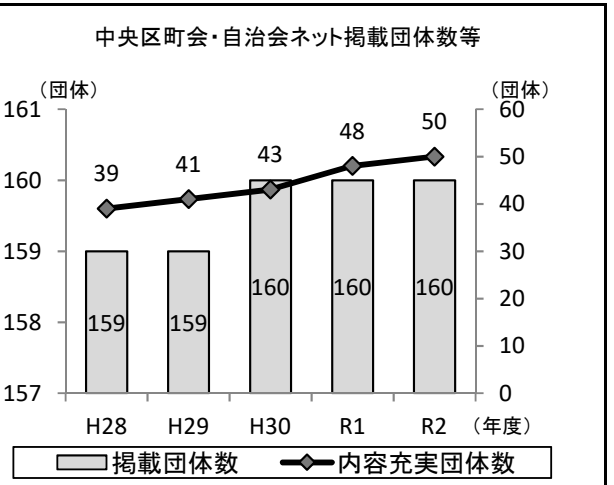
○担い手養成塾の講座内容

第1回:コミュニティ・つながりの重要性/塾生同士の自己紹介・相互理解
第2回:中央区の地域コミュニティ活動事例紹介
第3回:人を惹きつけるイベントの企画・運営・集客
第4回:組織マネジメントの基礎
第5回:新たな仲間の巻き込み方
第6回:地域コミュニティでの実践に向けて

○町会・自治会等向け講座の実施

- 「withコロナ時代のコミュニティ活動を考えよう」

○担い手養成塾修了生(H27-R2総数) 101人



4 総括

① 現状・成果・課題

・地域における顔の見えるつながりや生きがいとしての地域活動を学ぶ担い手養成塾の講座を開催し、不足している地域活動の担い手を発掘・養成することにより、地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進している。担い手養成塾の修了生の総数は、101人と平成30年度の67人から増加している。また、担い手養成塾修了生同士の交流から立ち上がったプロジェクト「月島長屋の子ども食堂」では、運営メンバーに新規修了生が加わるなど活発に活動が行われている。今後も地域コミュニティの担い手となる修了生をさらに増加させる必要がある。

・町会・自治会が主体となって行う地域のイベントや盆踊り大会の開催支援について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、地域のイベントについては開催数が大幅に減少し、盆踊り大会については助成対象となる大会の開催がなかった。

・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」のジュニア版等を発刊した。

・各町会・自治会の紹介および活動内容を掲載している「中央区町会・自治会ネット」は、情報発信手法が多様化する中で、サイト内容をさらに充実するため、町会が独自に発信する情報との連携を推進している。そうした中、内容充実団体数が増加しており情報発信と町会・自治会同士の連携強化に寄与している。

② 今後の方向性

・引き続き担い手養成塾を実施し、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生とさまざまな団体との連携を支援し、町会・自治会活動をはじめ地域活動の広がりを促進していく。

・町会・自治会の行うイベントについては、実施を検討する団体の意向に応じ、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた政府の指針や各種ガイドライン等を踏まえ、開催に向け支援を行っていく。

・これまでの伝統的な地域コミュニティのネットワークを日々進歩するインターネットを介したコミュニティにおいても展開し、地域コミュニティがさらに発展するよう、既存の情報発信事業の充実を図るとともに、町会・自治会の青年部等に向けた周知活動の実施とSNS等により独自に発信している情報と「町会・自治会ネット」との連携を一層強化していく。

・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	大江戸まつり盆おどり大会	中事業2	隅田川花火大会	中事業3	区民還暦祝い事業
地域イベントの開催等事業	中事業4	雪まつり	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・各種地域事業を開催することで、多くの区民がふれあい、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

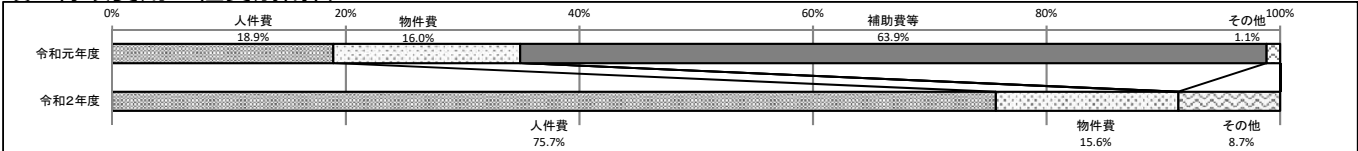
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	14,715,693	22,018,855	7,303,162	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	12,431,958	4,543,272	△7,888,686		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	49,653,000	0	△49,653,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,000,000	0	△2,000,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	2,000,000	0	△2,000,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	892,599	2,538,569	1,645,970		行政収支差額	△75,693,250	△29,100,696	46,592,554
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		77,693,250	29,100,696	△48,592,554	通常収支差額		△75,693,250	△29,100,696	46,592,554
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△72,127,793	△29,100,696	43,027,097
特別収入		3,565,457	0	△3,565,457	一般財源充当調整		77,360,505	29,738,421	△47,622,084
特別収支差額		3,565,457	0	△3,565,457	再計(一般財源調整後)		5,232,712	637,725	△4,594,987

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・「区民還暦祝い事業」祝い品作製委託 4,265,250円 ・「区民還暦祝い事業」アンケート用はがきの購入 103,950円 ・「区民還暦祝い事業」祝い状・封筒の購入 84,397円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・「還暦のつどい」廃止による運営委託料の皆減 △7,628,500円 ・「還暦のつどい」廃止による会場使用料の皆減 △243,300円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等に伴う補助費皆減 △49,653,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・対象事業の実施がなかったことによる特別区全国連携プロジェクト関連事業助成金の皆減 △2,000,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

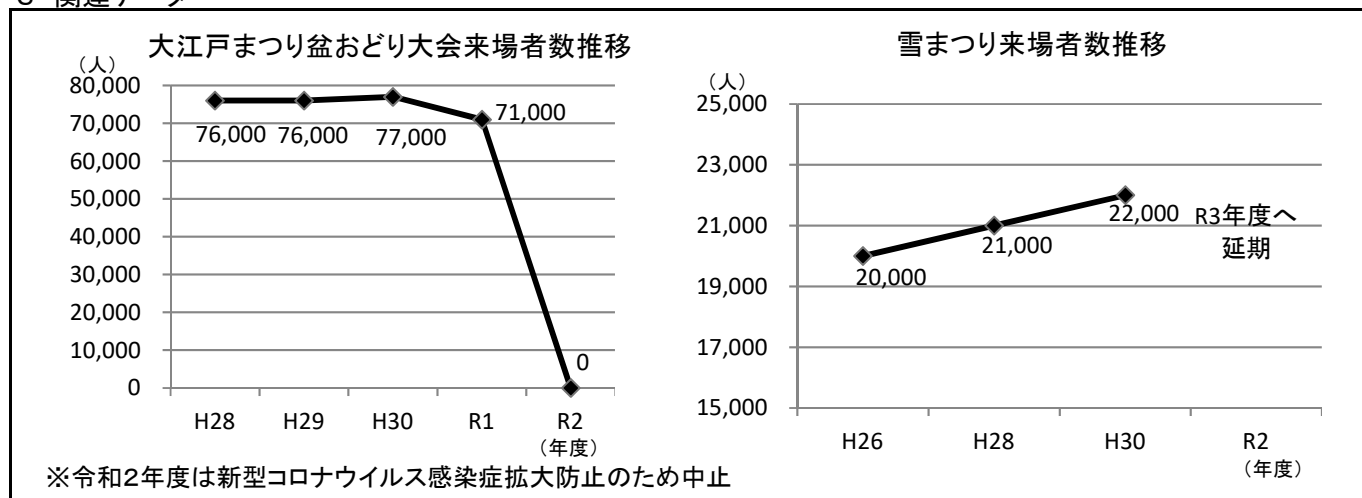
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	892,599	1,074,492	181,893
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	14,147,570	16,456,604	2,309,034
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	15,040,169	17,531,096	2,490,927
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△15,040,169	△17,531,096	△2,490,927
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、以下の事業を中止または令和3年度へ延期した。
【中止】中央区大江戸まつり盆おどり大会、隅田川花火大会 **【延期】**雪まつり(隔年開催)
 ・区民還暦祝い事業の「還暦のつどい」は、定年延長等による還暦対象者の意識の変化等に伴い、参加率の低下傾向が見られたため令和元年度をもって廃止とした。その一方で、還暦を迎える区民に対し、還暦祝い品と併せて協働ステーション中央の案内を送付することで、対象者の人生の節目を祝福するとともに、学びへの意識高揚や社会貢献活動への参加のきっかけづくりとした。また、令和元年度まで映画観賞券としていた還暦祝い品については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、区内の伝統工芸品より「しけびき扇子」を選定した。

② 今後の方向性

・中央区大江戸まつり盆おどり大会は、長期間の準備が必要なことやイベントの特性上、効果的な感染対策を講じることが困難なため、令和3年度も開催を中止した。
 ・イベントの実施において、感染症対策など来場者の安全確保を図り、より安全な運営に努めることで、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。
 ・区民還暦祝い事業については、還暦対象者から回収したアンケートの結果を踏まえながら、引き続き還暦祝い品とともに地域活動に関する案内を送付することで、これまでに培った知識や経験・能力をいかし、地域活動に参加する契機としていく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	社会貢献活動団体との協働の推進	中事業2	中事業3
社会貢献活動の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

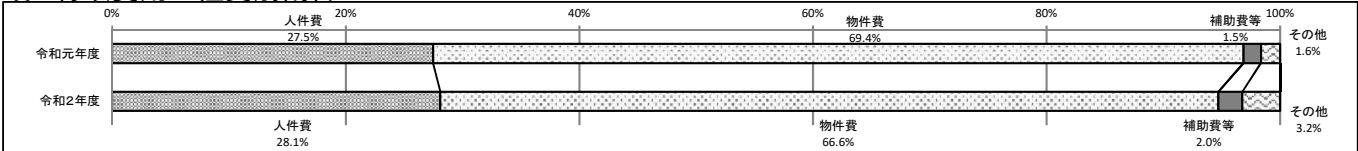
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	8,425,452	9,436,652	1,011,200	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	21,273,300	22,372,654	1,099,354		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	715,000	0	△715,000
	補助費等	454,000	685,000	231,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	16,980	800	△16,180
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		731,980	800	△731,180
	賞与・退職給与引当金繰入額	504,512	1,087,958	583,446	行政収支差額		△29,925,284	△33,581,464	△3,656,180
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		30,657,264	33,582,264	2,925,000	通常収支差額		△29,925,284	△33,581,464	△3,656,180
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△29,848,315	△33,581,464	△3,733,149
特別収入		76,969	0	△76,969	一般財源充当調整		30,759,759	33,854,775	3,095,016
特別収支差額		76,969	0	△76,969	再計(一般財源調整後)		911,444	273,311	△638,133

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営等業務委託 14,523,300円 ・協働提案事業委託(2事業分) 2,289,500円 ・社会貢献活動情報サイト運用業務委託 1,463,000円	決算額の主な内訳	・協働推進会議委員謝礼 667,000円 ・社会貢献活動事業補助金認定審査委員会委員謝礼 18,000円
主な増減理由	・協働提案事業実施数の増加(1事業→2事業)による委託料増 860,300円 ・協働推進会議開催回数増による運営補助委託料増 156,156円	主な増減理由	・協働推進会議開催回数増加による委員謝礼増 213,000円 ・社会貢献活動事業認定審査会の開催に伴う委員謝礼皆増 18,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	都支支出金
決算額の主な内訳	・コピー機等利用に伴う受益者負担金 800円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・コピー機等利用に伴う受益者負担金実績減 △16,180円	主な増減理由	・平成29年度採択協働提案事業(バリアフリーマップ作成事業)協働事業期間終了に伴う皆減 △715,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	504,512	460,497	△44,015
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	1	1	0	退職給与引当金	7,996,453	7,052,830	△943,623
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	8,500,965	7,513,327	△987,638
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△8,500,964	△7,513,326	987,638
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1	1	0
資産の部 合計	1	1	0				

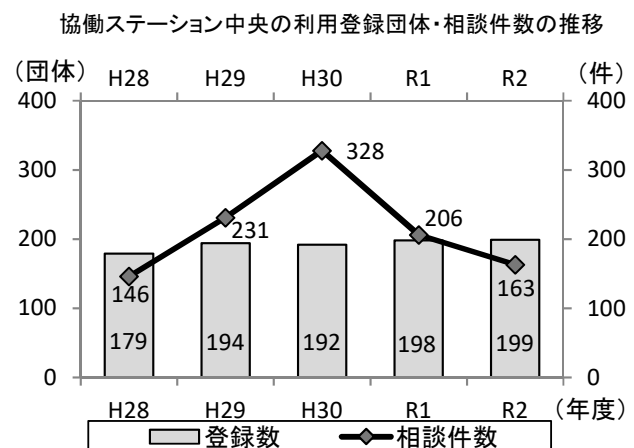
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和元年度	令和2年度
社会貢献活動情報サイト登録数(団体)	139	142
社会貢献活動情報サイト年間アクセス数(件)	8,004	6,355
協働提案事業通算採択数(件)	18	19
社会貢献活動補助金認定事業数(件)	—	4

- ・中央区協働推進会議の提言による、協働の仕組みに基づき、協働提案事業2事業を新たに実施。(R1採択分)
- <R1採択事業(実施内容・回数)>
- ①地域コミュニティPTA(ピタ)ツと！事業「ランPAT2.0」
(ランPATの実施 計3回)
- ②部活動活性化事業(部活動指導 計93回)
- ・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。(9回開催、延べ参加者数138人)



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・協働ステーション中央の協働事業提案等に関する相談件数については令和元年度と比較すると減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響下においても一定の相談件数があり、社会貢献活動への参画意識の醸成に協働ステーション中央が寄与している。
- ・サイトアクセス数については減少したものの、区民等の地域活動への興味・関心を高めるため、社会貢献活動情報サイト等を通じて、協働ステーション中央が実施する講座の周知や登録団体の情報発信、登録団体相互の情報交換に対する支援等を行うことで、社会貢献活動の情報発信に寄与した。
- ・協働提案事業については新たに2事業を実施した。令和2年度に公募した協働提案事業については中央区協働推進会議において1事業が採択され、協働が着実に推進された。
- ・社会貢献活動事業補助金制度を新たに創設し、公募の結果、4事業が補助認定対象となったことで社会貢献活動団体の裾野を広げることができた。

② 今後の方向性

- ・協働ステーション中央における登録団体とさまざまな主体を結びつける中間支援拠点としてのコーディネート機能の強化を図り、適切な新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、オンラインを活用した各種講座等を実施することにより団体活動を支援していく。
- ・社会貢献活動情報サイト等を活用して、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境づくりを整えるとともに、情報発信や情報交換の場を提供することにより、各種団体の活動支援を行っていく。
- ・補助金の交付等による団体への幅広い活動支援により社会貢献活動団体の裾野を広げること、協働事業提案を行うことができる団体を増加させ、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	公衆浴場対策	中事業2	コミュニティふれあい銭湯	中事業3	
公衆浴場対策事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の向上を目的として、公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。また、世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育むため、区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

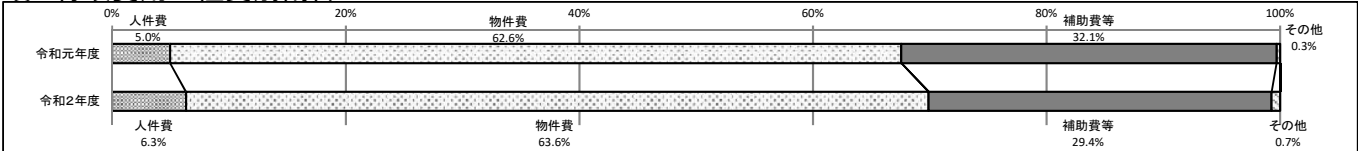
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,240,560	3,931,938	691,378	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	40,853,673	39,558,814	△1,294,859		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	20,972,354	18,266,488	△2,705,866		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	194,043	453,316	259,273		行政収支差額	△65,260,630	△62,210,556	3,050,074
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		65,260,630	62,210,556	△3,050,074		通常収支差額	△65,260,630	△62,210,556	3,050,074
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△65,231,027	△62,210,556	3,020,471
特別収入		29,603	0	△29,603		一般財源充当調整	65,581,582	62,324,435	△3,257,147
特別収支差額		29,603	0	△29,603	再計(一般財源調整後)		350,555	113,879	△236,676

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 39,454,800円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金 18,266,488円
主な増減理由	・浴場の廃業・休業によるふれあい銭湯開設委託料減 △1,215,120円	主な増減理由	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金実績減による補助金減 △2,705,866円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	194,043	191,874	△2,169
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	3,075,559	2,938,679	△136,880
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	3,269,602	3,130,553	△139,049
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△3,269,602	△3,130,553	139,049
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

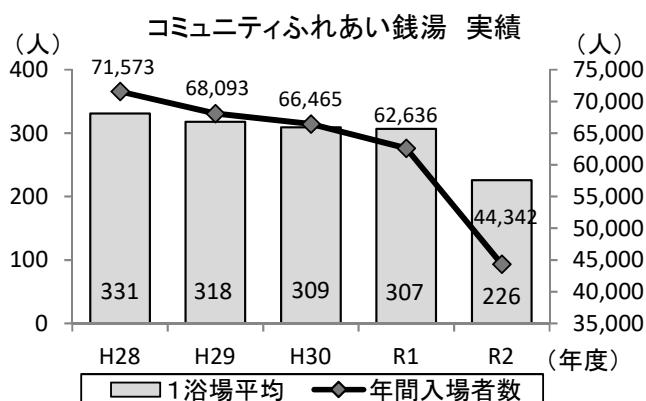
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

設備整備費補助等実績

補助対象事業	令和元年度	令和2年度
かまの更新(件)	0	0
温水器の更新(件)	1	0
浴室および脱衣室塗装(件)	0	1
ポンプの更新(件)	0	1
煙突補修(件)	0	0
浴室等修繕(件)	3	5
クリーンエネルギー化(件)	0	0
耐震化(件)	0	0
燃料費等補助金(浴場)	9	9



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月～9月は中止し、10月～3月は毎週金曜日(1月1日を除く)に開設。

4 総括

① 現状・成果・課題

・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。

・コミュニティふれあい銭湯は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年4月から9月まで中止したが、再開にあたって、利用者の分散来場を図るため、令和2年10月から令和3年3月に限り毎週金曜日(1月1日を除く)の開設とした。本事業は公衆浴場対策の一面もある一方で、さらなる世代間交流やコミュニティ意識形成のため、他事業との連携や周知の拡大を図る必要がある。

② 今後の方向性

・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。

・世代間交流やコミュニティ意識形成をさらに促進するため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、コミュニティふれあい銭湯を実施するとともに、公衆浴場のさらなる周知について検討する。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	公設浴場の維持管理	中事業2		中事業3	
公設浴場管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

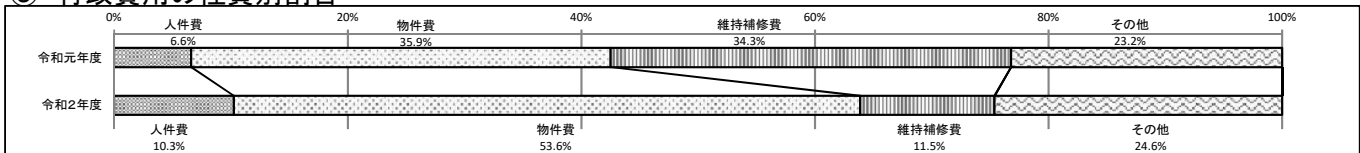
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,944,335	2,359,164	414,829	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	10,585,223	12,338,876	1,753,653		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	10,108,773	2,651,000	△7,457,773		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,331,640	0	△1,331,640		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0		その他	0	612,392	612,392
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	612,392	612,392
	賞与・退職給与引当金繰入額	116,426	271,990	155,564	行政収支差額		△29,480,756	△22,402,997	7,077,759
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		29,480,756	23,015,389	△6,465,367	通常収支差額		△29,480,756	△22,402,997	7,077,759
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△29,462,994	△22,402,997	7,059,997
特別収入		17,762	0	△17,762	一般財源充当調整		24,278,968	17,076,965	△7,202,003
特別収支差額		17,762	0	△17,762	再計(一般財源調整後)		△5,184,026	△5,326,032	△142,006

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 4,695,742円 ・入船湯賃料および共益費 3,056,102円 ・設備修繕費 1,916,640円	決算額の主な内訳	・銀座湯男子浴槽用ろ過本体交換工事 1,298,000円 ・銀座湯給湯器取替工事 770,220円 ・銀座湯排水栓等補修工事 582,780円
主な増減理由	・設備不良増による修繕費増 1,630,298円	主な増減理由	・銀座湯内部改修その他工事皆減 △8,635,000円

勘定科目	投資的経費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・十思湯電気料金 612,392円
主な増減理由	・中央区立水谷橋公園および水谷橋公園内保育所整備工事(銀座湯負担分)皆減 △1,331,640円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

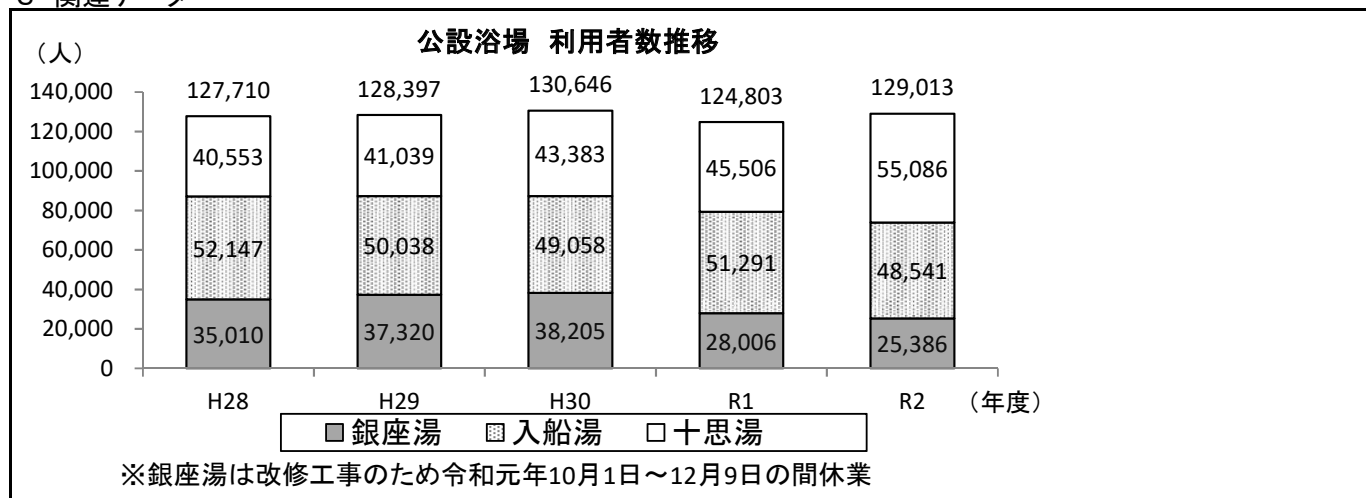
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	116,426	115,124	△1,302
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	106,264,000	106,264,000	0	特別区債	0	0	0
建物	242,746,174	237,351,815	△5,394,359	退職給与引当金	1,845,335	1,763,208	△82,127
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	1,961,761	1,878,332	△83,429
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	347,048,413	341,737,483	△5,310,930
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	349,010,174	343,615,815	△5,394,359
資産の部 合計	349,010,174	343,615,815	△5,394,359				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・十思湯 237,351,814円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	・銀座湯敷地 106,264,000円
主な 増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円	主な 増減理由	・増減なし

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。
- ・公衆浴場の利用者は一定数を保っており、公衆浴場の利用ニーズにんでいる。

② 今後の方向性

- ・感染症対策を含め、利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。
- ・コミュニティの形成や高齢者の生きがい・健康増進の観点からさらなる利用者の増加を図るため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	区民館の管理運営	中事業2	区民館の改修	中事業3	人形町区民館建物取得(償還費)
区民館管理事業	中事業4	八丁堀区民館の改築	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館を管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

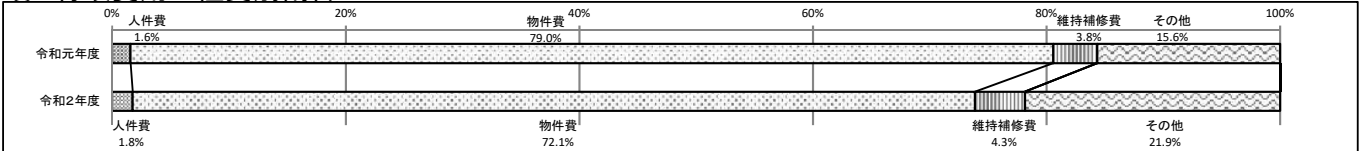
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,871,181	7,077,489	1,206,308	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	293,521,664	289,432,678	△4,088,986		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	14,002,854	17,131,620	3,128,766		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	29,733,000	29,733,000		使用料及び手数料	97,640,468	34,378,422	△63,262,046
	減価償却費	57,154,291	57,154,291	0		その他	100,140	339,245	239,105
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		97,740,608	34,717,667	△63,022,941
	賞与・退職給与引当金繰入額	981,848	815,969	△165,879	行政収支差額		△273,791,230	△366,627,380	△92,836,150
	その他	0	0	0	金融収支差額		△2,867,456	△2,628,501	238,955
	小 計	371,531,838	401,345,047	29,813,209	通常収支差額		△276,658,686	△369,255,881	△92,597,195
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△276,658,686	△369,255,881	△92,597,195
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		219,411,363	312,306,572	92,895,209
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△57,247,323	△56,949,309	298,014

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・指定管理料 248,117,160円 ・光熱水費 21,481,421円	決算額の主な内訳	・月島区民館冷暖房設備改修工事 14,487,000円 ・新富分庁舎および新富区民館受変電設備補修工事 8,096,000円 ・日本橋保健センター等複合施設消防設備改修工事 7,150,000円
主な増減理由	・使用実績減による光熱水費減 △4,359,296円	主な増減理由	・月島区民館冷暖房設備改修工事皆増 14,487,000円 ・新富分庁舎および新富区民館受変電設備補修工事皆増 8,096,000円 ・日本橋保健センター等複合施設消防設備改修工事皆増 7,150,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・銀座区民館および晴海区民館照明設備改修工事 9,431,620円 ・明石町区民館屋外階段補修工事 7,700,000円	決算額の主な内訳	・区民館使用料 34,206,730円
主な増減理由	・銀座区民館および晴海区民館照明設備改修工事皆増 9,431,620円 ・銀座区民館外壁改修工事皆減 △7,546,000円	主な増減理由	・利用者減による使用料減 △62,999,000円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

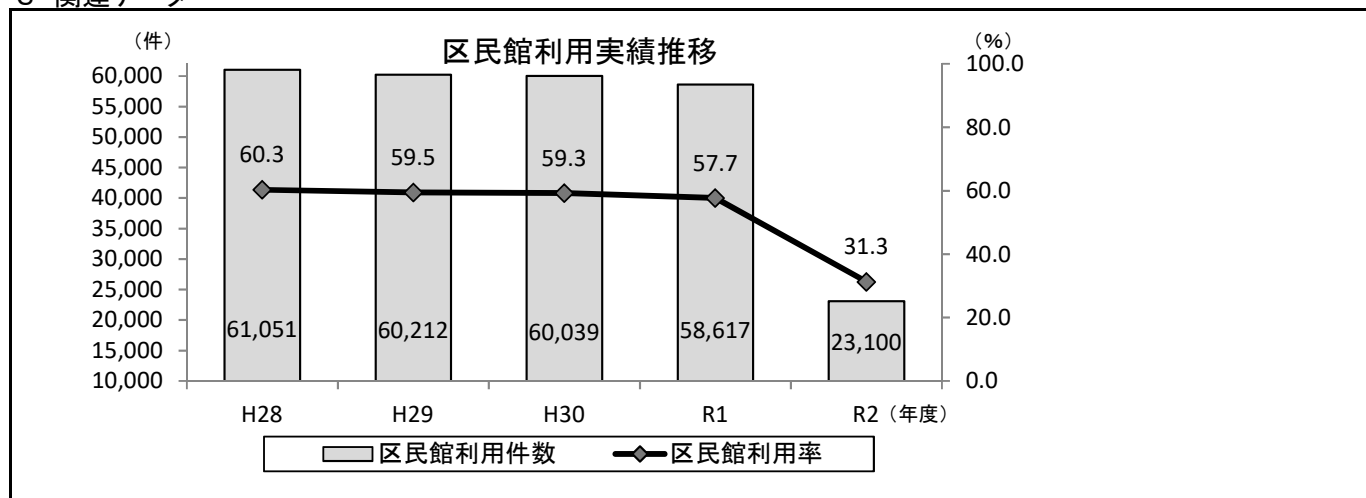
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	349,278	345,373	△3,905
				その他	16,146,000	16,146,000	0
固定資産				固定負債			
土地	1,085,891,742	1,085,891,742	0	特別区債	0	0	0
建物	1,302,474,283	1,245,174,165	△57,300,118	退職給与引当金	5,536,006	5,289,623	△246,383
工作物	388,575	347,598	△40,977	その他	161,460,000	145,314,000	△16,146,000
重要物品	0	0	0	負債の部合計	183,491,284	167,094,996	△16,396,288
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,235,461,616	2,194,516,809	△40,944,807
建設仮勘定	30,198,300	30,198,300	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	2,418,952,900	2,361,611,805	△57,341,095
資産の部 合計	2,418,952,900	2,361,611,805	△57,341,095				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・区民館(明石町他15区民館) 1,245,174,165円	決算額の 主な内訳	・区民館等敷地(明石町他7区民館) 1,085,891,742円
主な 増減理由	・区民館(明石町他14区民館)減価償却による減 △57,300,118円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	その他(固定負債)	勘定科目	建設仮勘定
決算額の 主な内訳	・人形町保育園等複合施設の施設整備費 145,314,000円	決算額の 主な内訳	・八丁堀区民館等複合施設(区民館)建設工事設計業務委託 30,198,300円
主な 増減理由	・人形町保育園等複合施設の施設整備費償還による固定負債 減 △16,146,000円	主な 増減理由	・増減なし

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、各区民館を以下の期間休館した。
令和2年4月9日から6月30日まで 京橋、銀座、新富、新場橋、佃
令和2年4月9日から7月14日まで 明石町、八丁堀、新川、堀留町、久松町、浜町、豊海、晴海
令和2年4月9日から7月31日まで 京橋プラザ、人形町、月島、勝どき
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数が大幅に減少した。
- ・東京2020大会の延期に伴い、八丁堀区民館等複合施設改築工事を延期した。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	中央会館「銀座 Blossam」の管理運営	中事業2		中事業3	
中央会館「銀座 Blossam」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上に寄与し、その福祉の増進を図るため、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

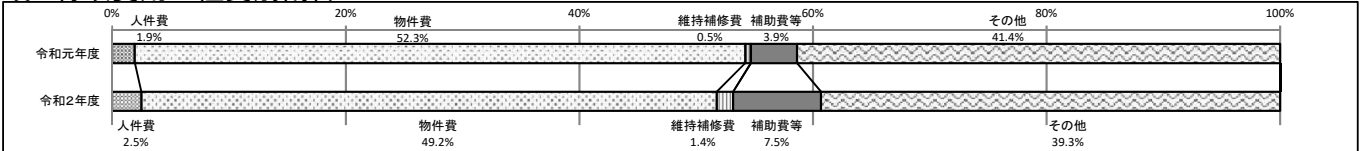
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,184,894	7,077,489	1,892,595	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	139,633,634	138,666,099	△967,535		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,299,100	3,960,000	2,660,900		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	10,537,930	21,172,271	10,634,341		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	30,637,352	4,018,338	△26,619,014
	減価償却費	110,168,529	109,866,130	△302,399		その他	1,039,280	0	△1,039,280
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	31,676,632	4,018,338	△27,658,294
	賞与・退職給与引当金繰入額	310,469	815,969	505,500		行政収支差額	△235,457,924	△277,539,620	△42,081,696
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		267,134,556	281,557,958	14,423,402	通常収支差額		△235,457,924	△277,539,620	△42,081,696
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△235,410,558	△277,539,620	△42,129,062
特別収入		47,366	0	△47,366	一般財源充当調整		125,802,918	167,878,472	42,075,554
特別収支差額		47,366	0	△47,366	再計(一般財源調整後)		△109,607,640	△109,661,148	△53,508

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・指定管理料 138,012,464円	決算額の主な内訳	・指定管理料の補填 20,042,181円 ・利用料金減免額の補填 1,130,090円
主な増減理由	・修繕費減等による指定管理料の減 △1,049,422円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症への対応に伴う指定管理料の補填皆増 20,042,181円 ・減免利用減による利用料金減免額の補填減 △5,375,540円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・冷暖房設備改修工事 3,960,000円	決算額の主な内訳	・結婚式関連業務使用部分使用料 2,126,134円 ・移動通信用基地局設備使用料 1,870,284円
主な増減理由	・冷暖房設備改修工事による工事費皆増 3,960,000円 ・袖看板パネル取付工事皆減 △1,299,100円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う結婚式関連業務使用部分の使用料減額による減 △26,814,842円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

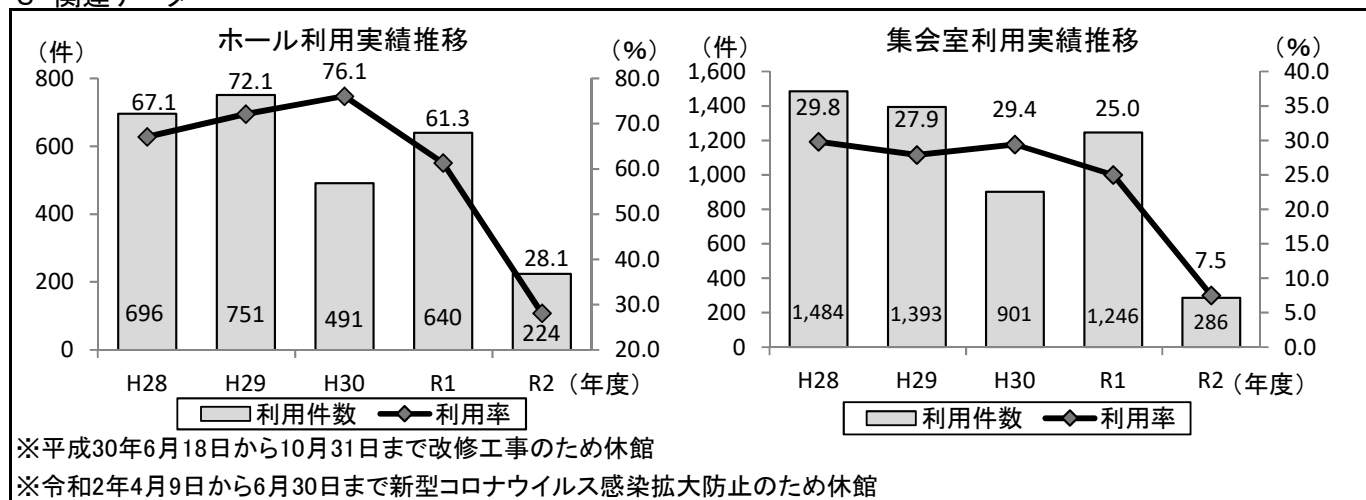
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	310,469	345,373	34,904
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	612,997,600	612,997,600	0	特別区債	0	0	0
建物	1,206,174,773	1,101,024,761	△105,150,012	退職給与引当金	4,920,894	5,289,623	368,729
工作物	1,618,854	1,481,936	△136,918	その他	0	0	0
重要物品	18,316,808	13,737,608	△4,579,200	負債の部合計	5,231,363	5,634,996	403,633
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,833,876,672	1,723,606,909	△110,269,763
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,839,108,035	1,729,241,905	△109,866,130
資産の部 合計	1,839,108,035	1,729,241,905	△109,866,130				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・中央会館 1,101,024,761円	決算額の 主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円
主な 増減理由	・中央会館減価償却による減 △105,150,012円	主な 増減理由	・増減なし

勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・グランドピアノ 13,737,600円	決算額の 主な内訳	・連続地中壁増深部分 1,481,936円
主な 増減理由	・グランドピアノ減価償却による減 △4,579,200円	主な 増減理由	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、令和2年4月9日から6月30日まで休館した。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数が大幅に減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入が大幅な減収となったため、指定管理者に経費不足額相当額を補填した。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	セレモニーホールの管理運営	中 事 業 2	セレモニーホールの改修	中 事 業 3	
セレモニーホール 管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

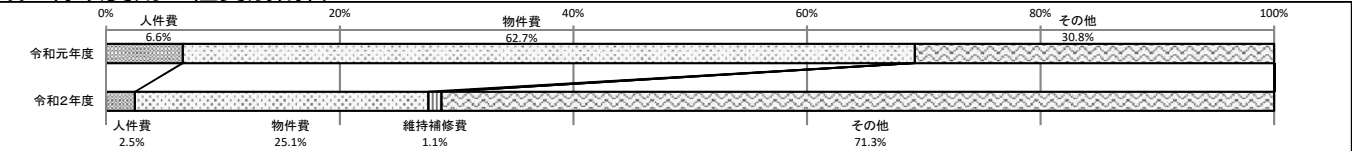
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,630,622	2,359,164	△271,458	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	25,072,643	24,147,969	△924,674		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	1,084,600	1,084,600		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	1,625,184	58,313,530	56,688,346		使用料及び手数料	9,172,800	4,145,400	△5,027,400
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		9,172,800	4,145,400	△5,027,400
	賞与・退職給与引当金繰入額	817,407	271,990	△545,417	行政収支差額		△30,836,658	△91,895,455	△61,058,797
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		40,009,458	96,040,855	56,031,397	通常収支差額		△30,836,658	△91,895,455	△61,058,797
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△30,836,658	△91,895,455	△61,058,797
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		20,529,469	82,100,180	61,570,711
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△10,307,189	△9,795,275	511,914

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・冷暖房機改修工事 58,300,000円 ・冷暖房機改修工事に伴う図面の焼付・製本 13,530円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 14,263,799円 ・エレベーター設備保守等委託 6,169,249円 ・光熱水費 1,719,504円
主な増減理由	・冷暖房機の改修に伴う工事費皆増 58,300,000円	主な増減理由	・冷暖房機の改修に伴う休館のためセレモニーホール業務委託減 △564,179円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・高圧受電設備改修工事 1,084,600円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 4,145,400円
主な増減理由	・高圧受電設備の故障による改修工事皆増 1,084,600円	主な増減理由	・利用実績減による使用料減 △5,027,400円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

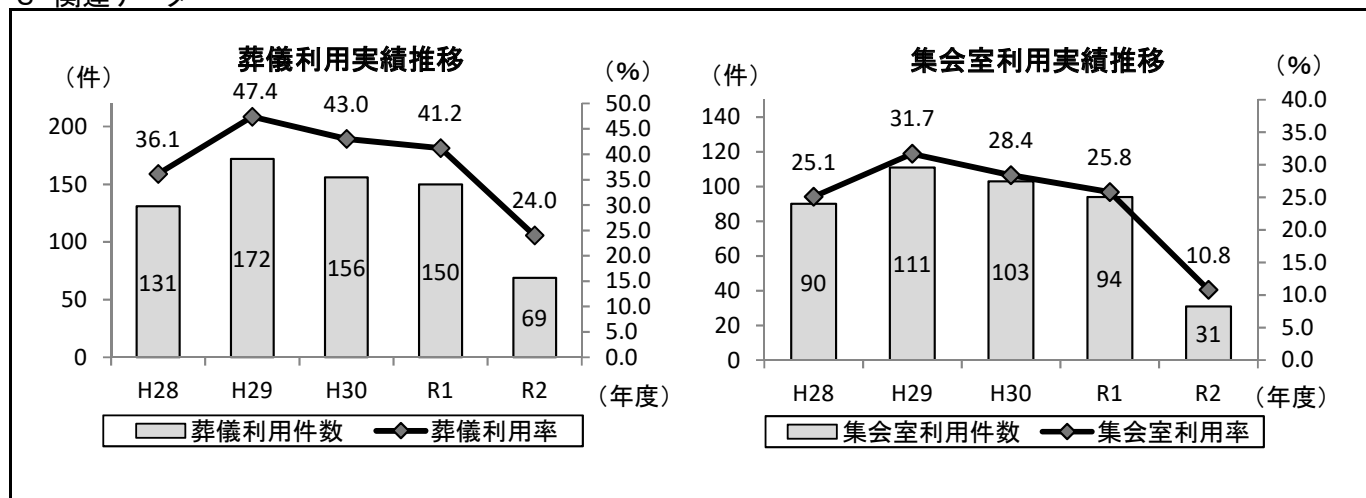
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	155,234	115,124	△40,110
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	120,548,000	120,548,000	0	特別区債	0	0	0
建物	255,506,770	245,679,588	△9,827,182	退職給与引当金	2,460,447	1,763,208	△697,239
工作物	946,920	910,500	△36,420	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,615,681	1,878,332	△737,349
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	374,386,009	365,259,756	△9,126,253
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	377,001,690	367,138,088	△9,863,602
資産の部 合計	377,001,690	367,138,088	△9,863,602				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール 245,679,588円	決算額の 主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円
主な 増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 910,500円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 減価償却による減 △36,420円	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・設備の老朽化に伴う冷暖房設備改修工事により、令和2年10月1日から12月15日まで休館した。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

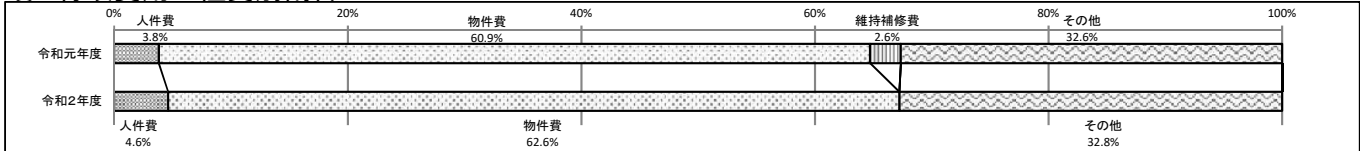
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,592,446	3,145,551	553,105	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	41,207,732	42,616,349	1,408,617		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,786,132	0	△1,786,132		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	5,511,360	4,082,200	△1,429,160
	減価償却費	21,938,688	21,938,688	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		5,511,360	4,082,200	△1,429,160
	賞与・退職給与引当金繰入額	155,234	362,653	207,419	行政収支差額		△62,168,872	△63,981,041	△1,812,169
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		67,680,232	68,063,241	383,009	通常収支差額		△62,168,872	△63,981,041	△1,812,169
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△62,145,189	△63,981,041	△1,835,852
特別収入		23,683	0	△23,683	一般財源充当調整		40,486,946	42,133,457	1,646,511
特別収支差額		23,683	0	△23,683	再計(一般財源調整後)		△21,658,243	△21,847,584	△189,341

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・指定管理料 41,249,719円 ・特定建築物等定期調査等委託 1,318,163円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・特定建築物等定期調査等委託皆増 1,318,163円	主な増減理由	・外部建具改修工事皆減 △1,786,132円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 4,082,200円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・集会室利用減による使用料減 △1,429,160円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

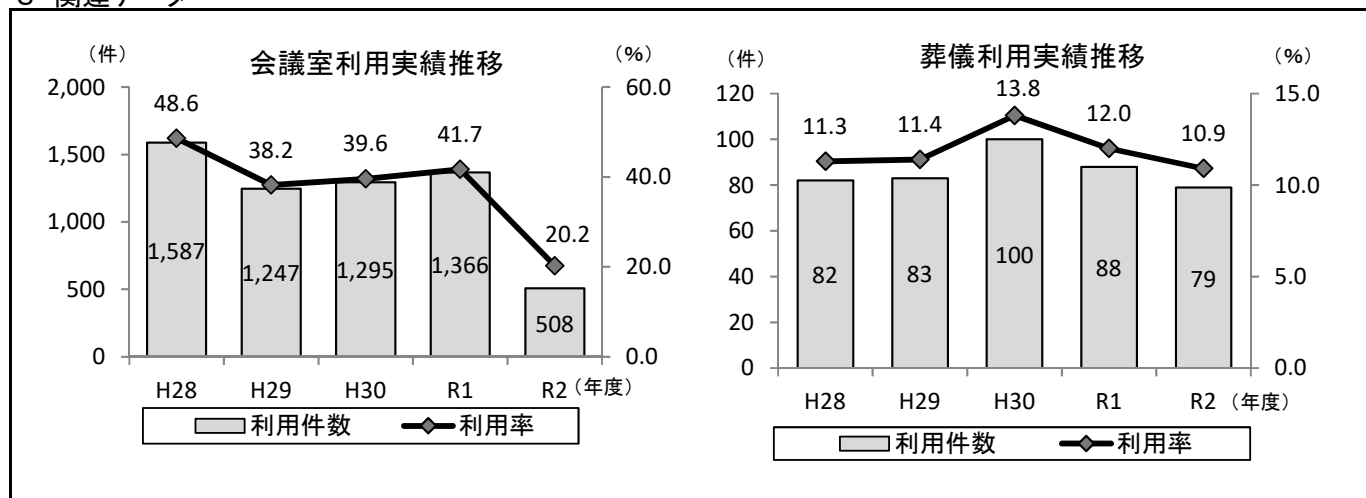
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	155,234	153,499	△1,735
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	331,255,656	331,255,656	0	特別区債	0	0	0
建物	859,891,361	838,394,078	△21,497,283	退職給与引当金	2,460,447	2,350,943	△109,504
工作物	5,350,950	4,909,545	△441,405	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,615,681	2,504,442	△111,239
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,193,882,286	1,172,054,837	△21,827,449
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,196,497,967	1,174,559,279	△21,938,688
資産の部 合計	1,196,497,967	1,174,559,279	△21,938,688				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設 838,394,078円	決算額の 主な内訳	・浜町集会施設敷地 331,255,656円
主な 増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設現場打ち側溝 2,878,348円 ・浜町集会施設縁石 1,159,352円 ・浜町集会施設車路フェンス 871,845円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・浜町集会施設車路フェンス減価償却による減 △222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝減価償却による減 △156,332円 ・浜町集会施設縁石減価償却による減 △62,968円	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、令和2年4月9日から6月30日まで集会室の利用を休止した。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、集会室の利用件数が減少した。
- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (地域振興課)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会やさまざまな地域団体の活動を活性化するため、一定地域内の各団体が自由に利用できる自主管理型施設として、地域コミュニティルームを整備する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

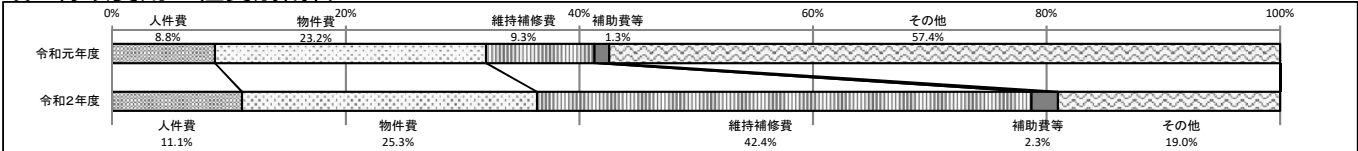
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,944,335	2,359,164	414,829	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	5,133,002	5,358,313	225,311		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	2,050,380	8,988,420	6,938,040		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	279,600	478,600	199,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	8,817,600	0	△8,817,600		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,764,071	3,764,071	0		その他	275,408	206,063	△69,345
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	275,408	206,063	△69,345
	賞与・退職給与引当金繰入額	116,426	271,990	155,564		行政収支差額	△21,830,006	△21,014,495	815,511
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小 計	22,105,414	21,220,558	△884,856		通常収支差額	△21,830,006	△21,014,495	815,511
	特別費用	0	0	0		当期収支差額	△21,812,244	△21,014,495	797,749
	特別収入	17,762	0	△17,762		一般財源充当調整	18,258,506	17,318,751	△939,755
	特別収支差額	17,762	0	△17,762	再計(一般財源調整後)	△3,553,738	△3,695,744	△142,006	

② 決算額の主な内訳

勘定科目	維持補修費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・湊コミュニティルーム冷暖房設備改修工事 8,470,000円 ・京橋プラザコミュニティルーム機械設備改修工事設計業務委託 518,420円	決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,464,640円
主な増減理由	・湊コミュニティルーム冷暖房設備改修工事による皆増 8,470,000円	主な増減理由	・人件費高騰等によるコミュニティルームトイレ清掃等委託費増 178,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・湊コミュニティルーム管理運営事業助成金 279,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円	決算額の主な内訳	・光熱水費(京華コミュニティルーム) 133,163円 ・共益費(湊コミュニティルーム) 72,900円
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響による利用件数減に伴う助成金増 199,000円	主な増減理由	・京華コミュニティルームにおける光熱水費減 △76,219円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	116,426	115,124	△1,302
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	95,784,554	92,020,483	△3,764,071	退職給与引当金	1,845,335	1,763,208	△82,127
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	1,961,761	1,878,332	△83,429
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	93,822,793	90,142,151	△3,680,642
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	95,784,554	92,020,483	△3,764,071
資産の部 合計	95,784,554	92,020,483	△3,764,071				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 92,020,482円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

京橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・複合施設を含む各コミュニティルームの経年劣化が進んでいるため、令和2年度は、湊コミュニティルームの冷暖房設備の改修工事など、必要な改修や修繕を行った。今後も、改修経費を最小限に抑えつつ、地域活動の場を継続的に提供していくために、施設を管理している関係部署と施設状況について情報を共有し、管理していく必要がある。

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、利用時間や利用方法を区施設と同様とすることなど、各コミュニティルームの管理運営委員会と調整した。

② 今後の方向性

・施設の現状を把握し、改修を計画的かつ効果的に行うことにより、今後の改修にかかる経費を必要最小限に抑えけるとともに、町会・自治会やさまざまな地域団体の活動の場を長期的に良好な状態の維持に努め、まちの課題解決に取り組む活動を支援していく。

・新型コロナウイルス感染症に関する区の方針について、迅速に、各コミュニティルーム管理運営委員会と情報共有し、安全・安心な活用が図られるよう努めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋特別出張所の管理運営	中事業2	日本橋特別出張所の改修(設計)	中事業3	
日本橋特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を図り、公務の円滑かつ適正な運営を確保する。
- ・戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱い、日本橋地域の住民の利便を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

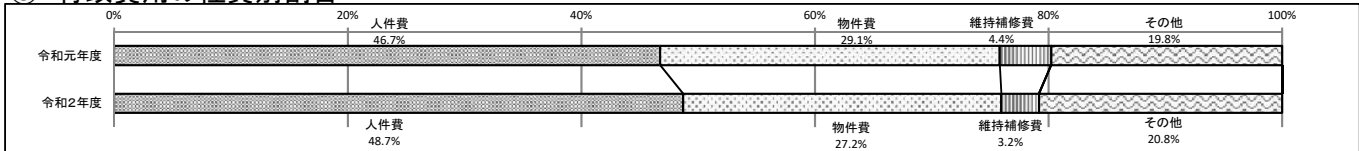
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	50,279,771	57,199,345	6,919,574	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	31,278,256	31,972,610	694,354		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	4,737,904	3,787,872	△950,032		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	1,120,200	1,114,200	△6,000
	減価償却費	18,161,149	17,733,050	△428,099		その他	42,678	18,631	△24,047
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		1,162,878	1,132,831	△30,047
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,104,691	6,709,076	3,604,385	行政収支差額		△106,398,893	△116,269,122	△9,870,229
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		107,561,771	117,401,953	9,840,182	通常収支差額		△106,398,893	△116,269,122	△9,870,229
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△105,925,236	△116,269,122	△10,343,886
特別収入		473,657	0	△473,657	一般財源充当調整		93,372,974	100,221,487	6,848,513
特別収支差額		473,657	0	△473,657	再計(一般財源調整後)		△12,552,262	△16,047,635	△3,495,373

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 17,858,503円 ・光熱水費 4,650,193円 ・公会堂障害者用トイレ電磁弁フラッシュバルブ修理 179,850円	決算額の主な内訳	・公会堂集会室ドア交換工事 1,112,100円 ・公会堂集会室和室平行パネル交換工事 845,900円 ・防犯カメラ更新及び増設工事 352,000円
主な増減理由	・日本橋特別出張所等複合施設建物維持管理業務委託の実績増 2,035,677円 ・公会堂休館等による光熱水費減 △1,837,855円	主な増減理由	・低温熱交換器交換工事、喫煙所撤去工事工事費の皆減 △2,248,530円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,114,200円	決算額の主な内訳	・会計年度任用職員雇用保険料 18,631円
主な増減理由	・納税証明等手数料実績減 △6,000円	主な増減理由	・十思コミュニティルーム電気料の減 △40,286円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

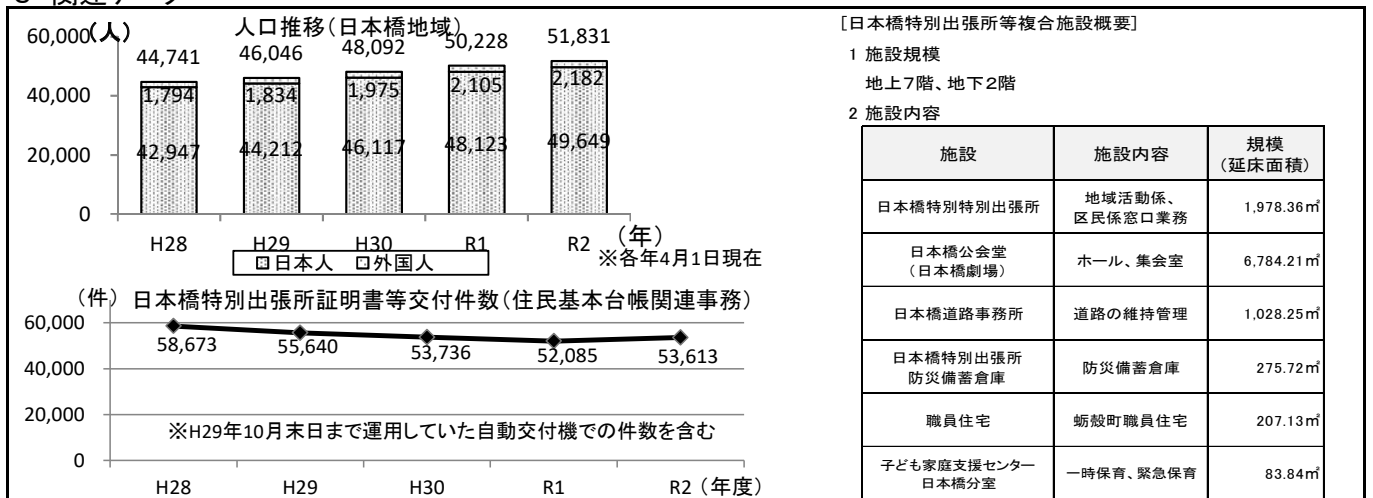
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	3,104,691	2,839,730	△264,961
固定資産				その他	0	0	0
土地	66,356,466	66,356,466	0	固定負債			
建物	493,041,370	476,039,945	△17,001,425	特別区債	0	0	0
工作物	8,542,702	7,811,077	△731,625	退職給与引当金	49,208,940	43,492,452	△5,716,488
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	52,313,631	46,332,182	△5,981,449
建設仮勘定	27,740,900	102,605,800	74,864,900	正味財産の部合計	543,367,807	606,481,106	63,113,299
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	595,681,438	652,813,288	57,131,850
資産の部 合計	595,681,438	652,813,288	57,131,850				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所 476,039,945円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設敷地 66,356,466円
主な 増減理由	・減価償却による減 △17,001,425円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設大規模改修工事 施設設計業務委託 102,605,800円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所スリット型排水溝 3,615,612円 ・日本橋特別出張所モニュメント 2,723,422円
主な 増減理由	・日本橋特別出張所等複合施設大規模改修工事 施設設計業務委託の皆増 102,605,800円 ・日本橋特別出張所等複合施設大規模改修工事 基本設計業務委託の皆減 △27,740,900円	主な 増減理由	・減価償却による減 △731,625円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋特別出張所複合施設は、平成11年開設から20年以上が経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。

・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今後の区の財政負担の平準化の観点から、令和3年度に着工を予定していた大規模改修工事を見送ったが、日常の使用に際して修繕の優先順位を検討しながら維持管理を行っていく必要がある。

・中央区情報化基本方針に基づき、今後の窓口業務はデジタル技術等を活用して区民の利便性向上等を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・大規模改修工事実施までの間、日常使用の不具合や事故を未然に防ぐため、必要な補修や修繕を行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・日本橋地域におけるコミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。 ・日本橋地域内の町会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

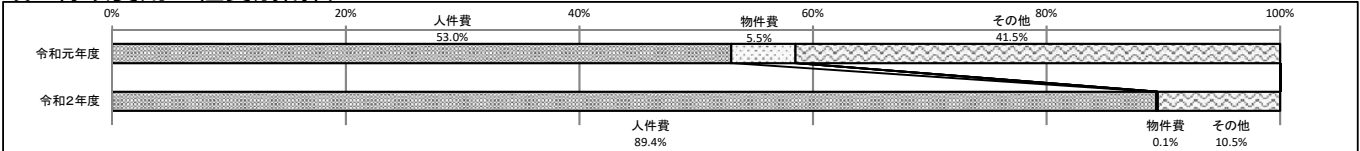
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,552,199	6,956,677	404,478	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	680,128	10,109	△670,019		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,129,871	815,969	△4,313,902	行政収支差額		△12,362,198	△7,782,755	4,579,443
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小計		12,362,198	7,782,755	△4,579,443	通常収支差額		△12,362,198	△7,782,755	4,579,443
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△12,362,198	△7,782,755	4,579,443
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		7,995,089	7,987,737	△7,352
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△4,367,109	204,982	4,572,091

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行政懇談会を書面開催へ変更したことによる食糧費等の皆減 △670,019円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	388,086	345,373	△42,713
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	6,151,117	5,289,623	△861,494
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	6,539,203	5,634,996	△904,207
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△6,539,203	△5,634,996	904,207
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(日本橋地域)

	H28	H29	H30	R1	R2
団体数(団体)	68	68	68	68	68
出席団体数(団体)	43	44	43	45	※
出席率(%)	63.2	64.7	63.2	66.2	※

※R2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため書面開催となった。

② 今後の方向性

- ・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

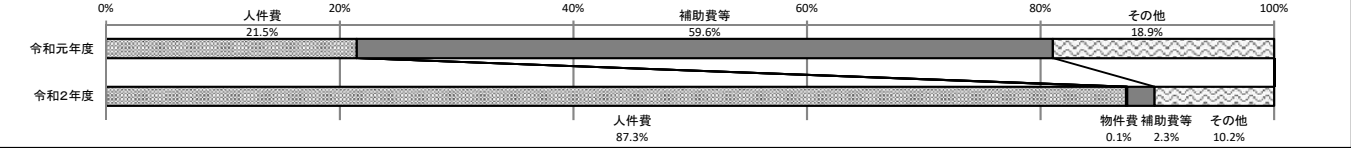
(単位:円)

勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,590,374	7,729,642	1,139,268	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	0	11,232	11,232		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	18,287,000	206,000	△18,081,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,815,727	906,631	△4,909,096		行政収支差額	△30,693,101	△8,853,505	21,839,596
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小計	30,693,101	8,853,505	△21,839,596		通常収支差額	△30,693,101	△8,853,505	21,839,596
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△30,693,101	△8,853,505	21,839,596
特別収入		0	0	0		一般財源充当調整	25,601,961	9,081,265	△16,520,696
特別収支差額		0	0	0		再計(一般財源調整後)	△5,091,140	227,760	5,318,900

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 270,000円 ・地域手づくりイベント推進助成金精算返還金 △64,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症の影響による地域手づくりイベント推進助成金および地域盆おどりに対する助成金の実績減による補助金減 △18,081,000円	主な増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	388,086	383,747	△4,339
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	6,151,117	5,877,358	△273,759
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	6,539,203	6,261,105	△278,098
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△6,539,203	△6,261,105	278,098
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(日本橋)

	H28	H29	H30	R1	R2
対象団体数(団体)	68	68	68	68	68
助成団体数(団体)	54	51	55	52	2
助成割合(%)	79.4	75.0	80.9	76.5	2.9
助成件数(件)	79	74	81	77	1

地域盆おどり大会助成件数(日本橋)

	H28	H29	H30	R1	R2
助成件数(件)	24	25	26	26	0

※R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で開催実績はなかった。

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆おどりの開催に対し、助成を行っている。多くの区民が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の向上をはかっている。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、手づくりイベントは1件の実績、盆おどりは実施団体なしという結果であった。

② 今後の方向性

・新型コロナウイルス感染症によりイベント開催が困難な情勢であるが、町会が主体となって行う伝統的な行事や盆おどりの開催を継続的に支援し、地域を守る意識の高揚を図っていく。

・地域独自の伝統的なイベントに加え、子どもや高齢者も楽しめるイベントの開催を促進することで、新たに住民となった方も含めた多くの区民が交流する契機となるよう支援をするとともに、地域の活性化につなげていく。

・今後の盆おどりははじめ地域のイベントについては、感染症対策を念頭に置き町会と連携して対応していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2		中事業3	
地域コミュニティ ルーム管理事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・日本橋地域町会やさまざまな団体が互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、交流・活動の場を提供する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

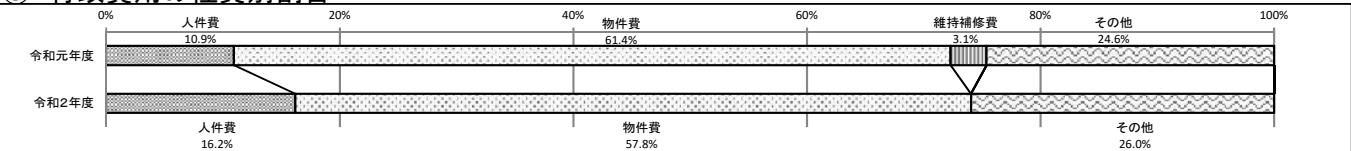
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,580,089	2,318,892	738,803	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	8,874,436	8,282,756	△591,680		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	447,700	0	△447,700		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0		その他	30,226	40,065	9,839
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		30,226	40,065	9,839
	賞与・退職給与引当金繰入額	116,426	271,990	155,564	行政収支差額		△14,432,823	△14,277,971	154,852
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	14,463,049	14,318,036	△145,013	通常収支差額		△14,432,823	△14,277,971	154,852
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△8,928,212	△14,277,971	△5,349,759
特別収入		5,504,611	0	△5,504,611	一般財源充当調整		11,486,399	10,901,900	△584,499
特別収支差額		5,504,611	0	△5,504,611	再計(一般財源調整後)		2,558,187	△3,376,071	△5,934,258

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・光熱水費 1,877,845円 ・浜町コミュニティルーム敷地賃借料 1,784,332円 ・地域コミュニティルーム警備委託 1,235,520円 ・浜町コミュニティルームトイレ部品交換 46,607円	決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム(建物) 1,721,069円 ・浜町コミュニティルーム(建物) 908,523円 ・中洲コミュニティルーム(建物) 814,806円
主な増減理由	・特定建築物等防火設備・建築設備定期点検等業務委託の皆減 △606,891円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気料 40,065円
主な増減理由	・浜町コミュニティルーム1F漏水調査復旧工事費の皆減 △447,700円	主な増減理由	・十思コミュニティルーム電気料の実績増 9,839円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	116,426	115,124	△1,302
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	63,620,927	60,176,529	△3,444,398	退職給与引当金	1,845,335	1,763,208	△82,127
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	1,961,761	1,878,332	△83,429
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	61,659,166	58,298,197	△3,360,969
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	63,620,927	60,176,529	△3,444,398
資産の部 合計	63,620,927	60,176,529	△3,444,398				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・箱崎町、中洲、浜町、十思コミュニティルーム 60,176,529円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・箱崎町、中洲、浜町、十思コミュニティルーム減価 償却による減 △3,444,398円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

日本橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積 (㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	201.6

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会の自主管理のもと、コロナ禍においても、万全の対策を講じながら町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・日本橋地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。

・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会の活動の場を提供していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	日本橋公会堂管理事業	中事業2		中事業3	
日本橋公会堂 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、ホール(日本橋劇場)と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

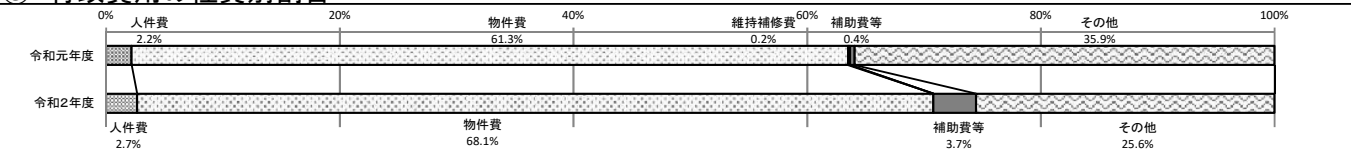
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,694,651	6,183,712	489,061	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	160,432,526	158,879,265	△1,553,261		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	478,500	0	△478,500		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	992,000	8,519,500	7,527,500		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	34,760,000	0	△34,760,000		使用料及び手数料	66,745,940	34,997,375	△31,748,565
	減価償却費	58,301,443	58,851,443	550,000		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		66,745,940	34,997,375	△31,748,565
	賞与・退職給与引当金繰入額	981,848	725,306	△256,542	行政収支差額		△194,895,028	△198,161,851	△3,266,823
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		261,640,968	233,159,226	△28,481,742	通常収支差額		△194,895,028	△198,161,851	△3,266,823
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△194,895,028	△198,161,851	△3,266,823
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		136,500,553	139,492,615	2,992,062
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△58,394,475	△58,669,236	△274,761

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・指定管理料 68,991,743円 ・施設維持管理 14,624,179円 ・光熱水費 14,036,279円	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料還付金 8,519,500円
主な増減理由	・使用実績減による光熱水費減 △5,547,459円 ・指定管理料増 2,652,236円 ・施設維持管理費増 493,558円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症等の影響による使用料還付金増 7,527,500円

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料 34,997,375円
主な増減理由	・日本橋公会堂調光卓装置取替工事終了による工事費の皆減 △34,760,000円	主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症等の影響による利用者減少および使用料還付による減 △31,748,565円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

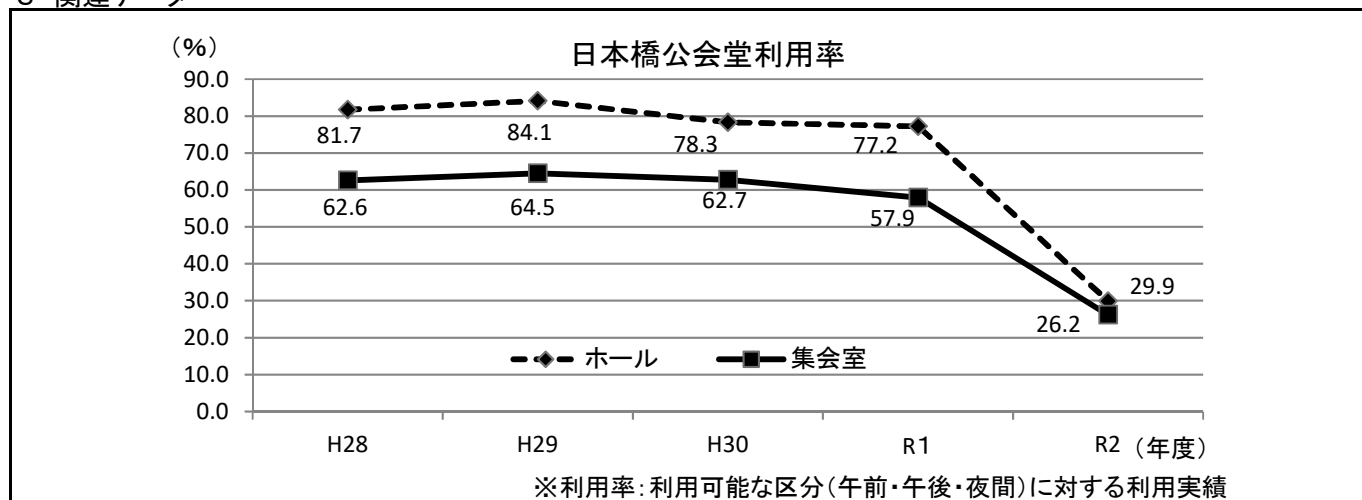
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	349,278	306,998	△42,280
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	1,690,741,868	1,632,440,425	△58,301,443	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	5,536,006	4,701,887	△834,119
重要物品	5,500,017	4,950,017	△550,000	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,885,284	5,008,885	△876,399
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,690,356,601	1,632,381,557	△57,975,044
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,696,241,885	1,637,390,442	△58,851,443
資産の部 合計	1,696,241,885	1,637,390,442	△58,851,443				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の 主な内訳	・日本橋公会堂 1,632,440,425円	決算額の 主な内訳	・スポットライト 4,950,000円
主な 増減理由	・減価償却による減 △58,301,443円	主な 増減理由	・スポットライト減価償却による減 △550,000円

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋公会堂は、平成11年開設から20年以上経過している。ホールは、定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、舞台装置等を含めた各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今後の区の財政負担の平準化の観点から、令和3年度に着工を予定していた大規模改修工事を見送ったが、区民施設として貸し出すにあたり、日ごろの点検と修繕が必要である。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により4月9日から6月30日まで休館となり利用数が減少した。

② 今後の方向性

- ・大規模改修工事实施までの間、日常使用の不具合や事故を未然に防ぐため、必要な補修を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国・東京都の対応方針や業種別ガイドライン等を踏まえ、施設サービスを提供していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部月島特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	月島特別出張所の管理運営	中事業2	月島特別出張所の改修	中事業3	
月島特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。 ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

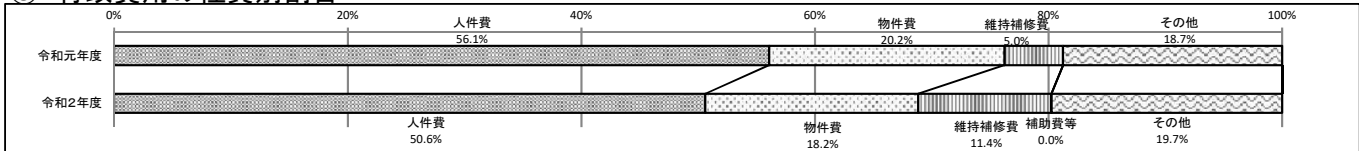
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	54,351,715	70,269,920	15,918,205	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	19,529,794	25,341,858	5,812,064		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	4,865,280	15,813,210	10,947,930		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	17,100	17,100		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	13,498,100	13,498,100		使用料及び手数料	1,739,100	1,746,600	7,500
	減価償却費	5,674,766	5,674,766	0		その他	4,721	13,896	9,175
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	1,743,821	1,760,496	16,675
	賞与・退職給与引当金繰入額	12,496,122	8,250,350	△4,245,772		行政収支差額	△95,173,856	△137,104,808	△41,930,952
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小 計	96,917,677	138,865,304	41,947,627		通常収支差額	△95,173,856	△137,104,808	△41,930,952
	特別費用	0	0	0		当期収支差額	△95,173,856	△137,104,808	△41,930,952
	特別収入	0	0	0		一般財源充当調整	85,532,426	133,502,648	47,970,222
	特別収支差額	0	0	0		再計(一般財源調整後)	△9,641,430	△3,602,160	6,039,270

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・施設維持管理等業務委託 19,214,019円 ・光熱水費 2,273,238円	決算額の主な内訳	・雨水排水溝の改修工事 6,122,600円 ・電話交換機等取替工事 6,050,000円 ・1階だれでもトイレ自動ドア化改修工事 1,217,700円
主な増減理由	・吸収冷温水機の部品交換等メンテナンス経費の皆増 4,950,000円	主な増減理由	・雨水排水溝の改修工事および電話交換機取替工事費の皆増 12,172,600円 ・喫煙所撤去工事完了による工事費皆減 △2,266,000円

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・外壁改修工事費 12,402,500円 ・外壁改修工事設計業務委託料 1,095,600円	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,746,600円
主な増減理由	・外壁改修工事費の皆増 13,498,100円	主な増減理由	・納税証明等発行件数増による手数料増 7,500円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

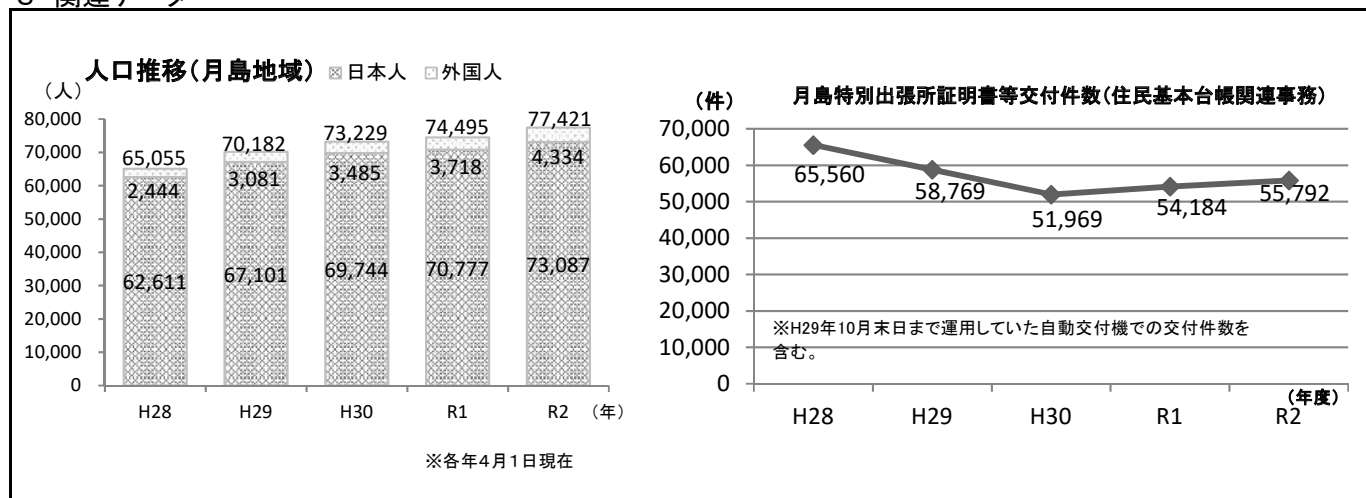
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	3,415,160	3,492,100	76,940
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	937,650	937,650	0	特別区債	0	0	0
建物	67,147,176	63,425,837	△3,721,339	退職給与引当金	54,129,834	53,483,961	△645,873
工作物	17,714,744	15,761,317	△1,953,427	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	57,544,994	56,976,061	△568,933
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	28,254,576	23,148,743	△5,105,833
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	85,799,570	80,124,804	△5,674,766
資産の部 合計	85,799,570	80,124,804	△5,674,766				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所 62,423,517円 ・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3力所) 1,002,320円	決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 10,112,650円 ・月島特別出張所時計塔設備 3,962,763円 ・月島特別出張所懸垂幕ポール 834,504円
主な 増減理由	・月島特別出張所等減価償却による減 △3,721,339円	主な 増減理由	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等減価償却による減 △1,953,427円
勘定科目	土地	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等敷地 937,650円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、毎年、維持補修工事・小破修理が多く発生している。

・月島地域の人口は、選手村跡の住宅入居などにより増加傾向が当分続くことが見込まれている。窓口利用件数についても、年度ごとの変動はあるが、人口増加に比例して利用件数の増加が見込まれる。今後、窓口業務は中央区情報化基本方針に基づき、デジタル技術等を活用して区民の利便性向上等を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、常に点検等を丁寧に実施することで、大規模な補修にいたるケースを未然に防ぎ経費の抑制および平準化を図りながら引き続き計画的な維持補修を行っていく。

・月島地域の人口増加に対応するため、特に人口増加の著しい晴海地区に令和6年度開設を目指し、新たな特別出張所の整備を進める。併せて円滑に開設ができるよう必要な人員の配置や育成を着実に進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

- ・コミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。
- ・区内町会長および自治会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

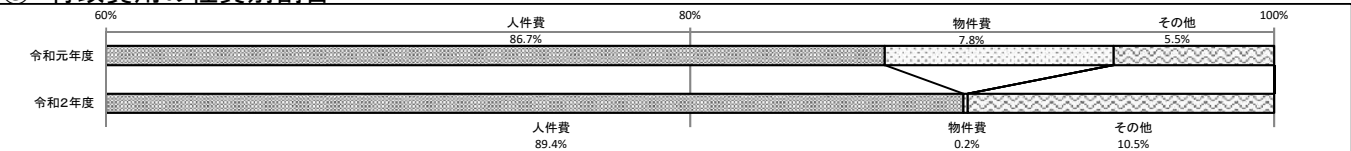
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	4,280,919	3,860,985	△419,934	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	387,245	6,509	△380,736		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,660	453,316	181,656	行政収支差額		△4,939,824	△4,320,810	619,014
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小計		4,939,824	4,320,810	△619,014	通常収支差額		△4,939,824	△4,320,810	619,014
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△4,898,378	△4,320,810	577,568
特別収入		41,446	0	△41,446	一般財源充当調整		5,389,157	4,434,689	△954,468
特別収支差額		41,446	0	△41,446	再計(一般財源調整後)		490,779	113,879	△376,900

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行政懇談会を書面開催へ変更したことによる食糧費等の皆減 △387,245円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	271,660	191,874	△79,786
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	4,305,782	2,938,679	△1,367,103
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	4,577,442	3,130,553	△1,446,889
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△4,577,442	△3,130,553	1,446,889
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(月島地域)

	H28	H29	H30	R1	R2
団体数 (団体)	44	45	45	45	46
出席団体数 (団体)	34	37	35	36	※
出席率(%)	77.3	82.2	77.8	80.0	※

※R2は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

・月島地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。この会議は、町会長・自治会長から直接意見をいただく場として重要な役割を果たしているため新型コロナウイルス感染症収束後は、従来と同様の形で実施していく。

・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。特に晴海地区における、新たに入居する大規模住宅の自治会結成や既存の連合町会との融合等、今までより踏み込んだ支援を行うことで地域における良好なコミュニティ形成に寄与していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,446,238	3,860,985	1,414,747	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	0	6,509	6,509		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	14,743,000	652,000	△14,091,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	155,235	453,316	298,081		行政収支差額	△17,344,473	△4,972,810	12,371,663
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		17,344,473	4,972,810	△12,371,663		通常収支差額	△17,344,473	△4,972,810	12,371,663
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△17,320,790	△4,972,810	12,347,980
特別収入		23,683	0	△23,683		一般財源充当調整	17,601,234	5,086,689	△12,514,545
特別収支差額		23,683	0	△23,683		再計(一般財源調整後)	280,444	113,879	△166,565

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 652,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域盆おどり大会実績減による助成金の減 △5,250,000円 ・地域手づくりイベント実績減による助成金の減 △8,841,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



(単位:円)

資産対照表				負債対照表					
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	155,235	191,874	36,639
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	2,460,447	2,938,679	478,232
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0	負債の部合計		2,615,682	3,130,553	514,871
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計		△2,615,682	△3,130,553	△514,871
	その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計		0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(月島)

	H28	H29	H30	R1	R2
対象団体数（団体）	44	46	45	46	46
助成団体数（団体）	30	33	35	32	6
助成割合（％）	68.2	71.7	77.8	69.6	13.0
助成件数（件）	42	46	49	43	10

地域盆おどり大会助成件数（月島）

	H28	H29	H30	R1	R2
助成件数 (件)	22	22	4	23	0

※H30は「住吉神社大祭(3年に1回開催)開催年度のため実績減

※R2は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績は無かった。

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆おどりの開催に対し、助成を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント助成を活用した団体が令和元年度に比べ約2割の実施にとどまり、盆おどりにおいては、助成を活用した団体はなかった。コロナ禍において町会や自治会が地域イベント等を開催することは、極めて困難な状況であった。

・今後のイベントおよび盆おどりについては、新型コロナウイルス感染症の状況により、実施への影響が懸念される。

② 今後の方向性

・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を強めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。

・引き続き町会・自治会と連携しながら、地域のイベント等を支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2		中事業3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会活動の円滑化を促進し、地域コミュニティの活性化を図るため、一定地域内(連合町会単位)の複数の町会・自治会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの管理運営を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

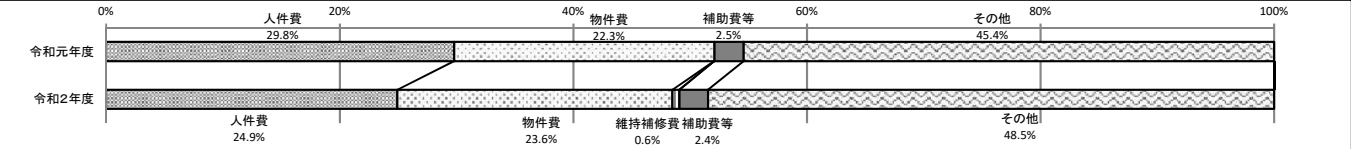
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,905,096	2,316,590	△588,506	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,170,958	2,188,565	17,607		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	55,000	55,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	244,000	227,000	△17,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0		その他	130,980	115,635	△15,345
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		130,980	115,635	△15,345
	賞与・退職給与引当金繰入額	194,043	271,990	77,947	行政収支差額		△9,615,726	△9,176,119	439,607
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	9,746,706	9,291,754	△454,952	通常収支差額		△9,615,726	△9,176,119	439,607
	特別費用	0	0	0	当期収支差額		△6,842,698	△9,176,119	△2,333,421
特別収入		2,773,028	0	△2,773,028	一般財源充当調整		5,856,771	5,011,837	△844,934
特別収支差額		2,773,028	0	△2,773,028	再計(一般財源調整後)		△985,927	△4,164,282	△3,178,355

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 1,907,904円 ・非接触式電子温度計の購入 17,600円	決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 227,000円
主な増減理由	・非接触式電子温度計の購入による皆増 17,600円	主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営に係る助成金の減 △17,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・煙感知器交換工事 55,000円	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費立替分収入 115,635円
主な増減理由	・煙感知器交換工事の皆増 55,000円	主な増減理由	・使用量実績減による光熱水費立替分収入の減 △15,345円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	194,043	115,124	△78,919
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	89,192,868	84,960,259	△4,232,609	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	3,075,559	1,763,208	△1,312,351
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	3,269,602	1,878,332	△1,391,270
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	85,923,266	83,081,927	△2,841,339
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	89,192,868	84,960,259	△4,232,609
資産の部 合計	89,192,868	84,960,259	△4,232,609				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 76,303,437円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 8,656,822円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・勝どきおよび月島清澄通りコミュニティルーム減価償却による減 △4,232,609円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

月島地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	366.7
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145.26

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、コロナ禍においても、万全の対策を講じながら町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・各コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。

・コミュニティルーム運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会・自治会の活動の場を提供していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域文化活動の推進	中事業2		中事業3	
地域文化活動の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・まるごとミュージアムは、区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力(名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等)を楽しみ享受できる一日となるよう実施している。

・まちかど展示館は、地域住民自らが文化資源を展示・公開する施設等の運営を支援している。また、まちかど展示館運営協議会を中心に、観光・文化資源として活用していくための取組を推進している。

・東京国際合唱コンクールは、区民が世界基準の合唱文化に触れ、国際交流を深めることで、本区の文化振興および生涯学習意欲の向上をより一層推進するため実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

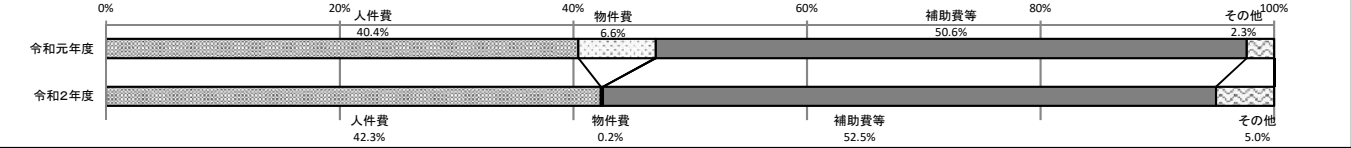
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	15,457,782	17,725,328	2,267,546	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,535,084	82,500	△2,452,584		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	19,347,437	21,972,038	2,624,601		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	892,599	2,085,253	1,192,654	行政収支差額		△38,232,902	△41,865,119	△3,632,217
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		38,232,902	41,865,119	3,632,217	通常収支差額		△38,232,902	△41,865,119	△3,632,217
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△36,725,013	△41,865,119	△5,140,106
特別収入		1,507,889	0	△1,507,889	一般財源充当調整		39,785,631	42,388,965	2,603,334
特別収支差額		1,507,889	0	△1,507,889	再計(一般財源調整後)		3,060,618	523,846	△2,536,772

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 17,668,362円 ・まちかど展示館に係る改装整備費等助成金 3,669,000円 ・東京国際合唱コンクール負担金 184,476円	決算額の主な内訳	・まちかど展示館プレート購入 82,500円
主な増減理由	・まちかど展示館ホームページ改修費等増による補助金増 9,531,425円 ・まちかど展示館開設による改装整備費助成金減 △2,132,000円 ・東京国際合唱コンクール中止等による負担金減 △3,815,524円	主な増減理由	・東京国際合唱コンクール中止による記念品購入等皆減 △774,445円 ・まちかどコンサート中止による会場等使用料皆減 △770,606円 ・まちかど展示館開設によるプレート購入費減 △408,000円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

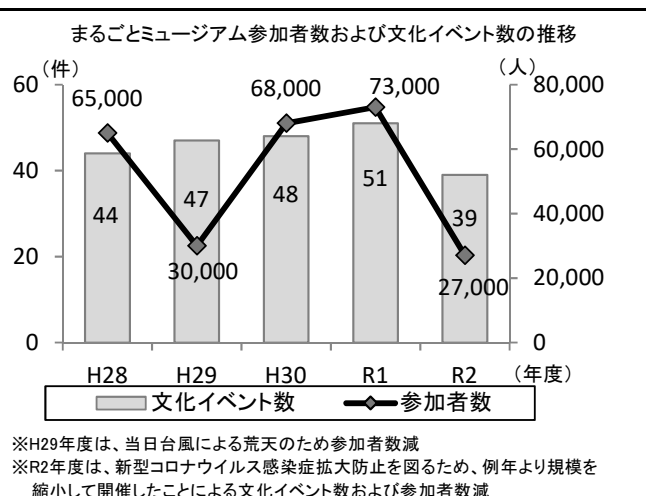
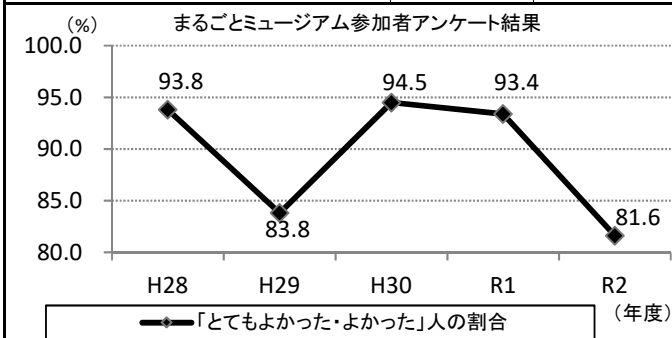
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	892,599	882,619	△9,980
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	14,147,570	13,517,924	△629,646
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	15,040,169	14,400,543	△639,626
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△15,040,169	△14,400,543	639,626
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

項目	令和元年度	令和2年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	30・20	29・23
東京国際合唱コンクール延入場者数(人) (チケット購入者数)	2,298	中止



4 総括

① 現状・成果・課題

・まるとミュージアムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止により規模を縮小して実施したため参加者数は減少したが、参加者からは概ね良い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。令和2年度は、周遊船は乗船券のインターネット等による事前申込制の導入およびコースの増、スタンプラリー参加者に提供する景品を応募制とするなどの対応を行い実施した。また、パンフレットにジャンル分けしたイベントインデックスを掲載するとともに、子どもも楽しめるイベントの表記や地域ごとに色分けをするなど参加者自身が回遊プランを作成しやすくなるよう工夫した。今後も、多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、継続的に事業内容の充実を図っていく必要がある。

・「まちかど展示館」事業は、区民に対してスタンプラリーや緊急事態宣言下において自宅で参加できる「期間限定クイズ」を5月に実施するなど地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。また、外国人観光客等に向けて「まちかど展示館」のホームページに掲載している日本語動画に外国語表記(英語・中国語・韓国語)をつけるなど情報発信を強化した。今後も、区民や観光客等への認知をより高めるため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌やウェブサイトを活用した情報発信を行っていくとともに、回遊性をさらに高める取組を進めていく必要がある。

・東京国際合唱コンクールは、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、本事業は、観覧者から高い評価を得ており、今後は本区の恒例のイベントとして定着させるため、より多くの区民が合唱に触れる機会を増やす必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、海外団体の入国制限や練習機会の減少等の中での参加団体の確保、コンクール会場等の感染症対策ガイドラインに基づく事業運営(参加団体の人員数や観覧者の入場制限等)を検討し、実施する必要がある。

② 今後の方向性

・まるとミュージアムは、参加事業者と協力し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、より多くの参加者が本区の文化的な魅力に親しめるよう、人気の高い周遊船の増便やコースの一部見直しを行うなど内容の充実を図り、参加者の満足度向上につなげていく。

・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、まるとミュージアムへの出展および体験コーナーの実施を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施する。

・東京国際合唱コンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンクール会場等の感染症対策ガイドラインに基づく事業運営を行うが、まちかどコンサートは、各会場において、出演者同士の距離の確保などの感染症対策が困難であることから中止が決定している。また、コンクールの区民招待者は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による観覧者の入場制限等を踏まえながら区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供し、地域に愛されるイベントとして定着させていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	郷土天文館「タイムドーム明石」の管理運営	中事業2		中事業3	
郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。
- ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。
- ・プラネタリウムの学習投影を通じて、児童の理科や科学への興味を深める。さらに、生涯学習施設として区民等が知的探究心を満足させることができる空間として、また、エンターテインメント番組などの投影を行うことで、リラクゼーション空間としても活用を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

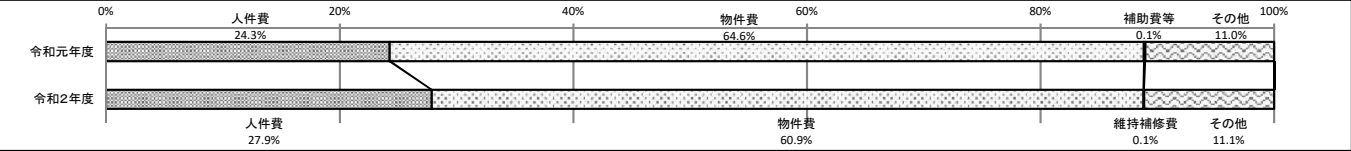
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	33,934,938	40,852,014	6,917,076	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	90,337,518	89,276,792	△1,060,726		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	73,700	73,700		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	141,206	1,073,652	932,446
	補助費等	158,000	0	△158,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	3,245,660	1,738,900	△1,506,760
	減価償却費	14,778,336	14,778,336	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		3,386,866	2,812,552	△574,314
	賞与・退職給与引当金繰入額	659,747	1,541,274	881,527	行政収支差額		△136,481,673	△143,709,564	△7,227,891
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		139,868,539	146,522,116	6,653,577	通常収支差額		△136,481,673	△143,709,564	△7,227,891
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△136,381,021	△143,709,564	△7,328,543
特別収入		100,652	0	△100,652	一般財源充当調整		122,794,573	129,318,418	6,523,845
特別収支差額		100,652	0	△100,652	再計(一般財源調整後)		△13,586,448	△14,391,146	△804,698

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・受付業務及びプラネタリウム投影委託料 24,125,222円	決算額の主な内訳	・会計年度任用職員報酬 26,681,505円
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に伴う番組休止等による委託料減 △1,060,726円	主な増減理由	・文化財調査指導員欠員1名の補充に伴う報酬増 3,792,362円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・郷土天文館使用料 1,738,900円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策(休止等)による使用料減 △1,506,760円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

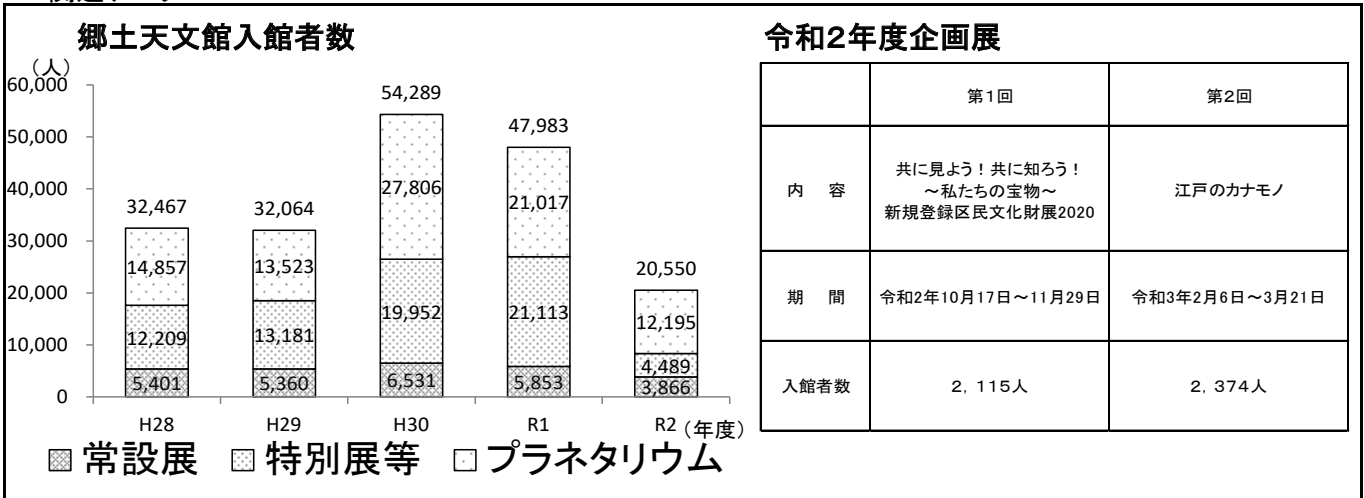
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	659,747	652,370	△7,377
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	232,122,190	217,583,864	△14,538,326	退職給与引当金	10,456,900	9,991,509	△465,391
工作物	2,618,850	2,378,840	△240,010	その他	0	0	0
重要物品	32,200,003	32,200,003	0	負債の部合計	11,116,647	10,643,879	△472,768
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	255,824,396	241,518,828	△14,305,568
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	266,941,043	252,162,707	△14,778,336
資産の部 合計	266,941,043	252,162,707	△14,778,336				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・郷土天文館 217,583,864円	決算額の 主な内訳	・郷土天文館内等工作物 2,378,840円
主な 増減理由	・減価償却による減 △14,538,626円	主な 増減理由	・減価償却による減 △240,010円
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・郷土天文館内等重要物品 32,200,003円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・収蔵資料を中心に展示している常設展示に加え、テーマ別の企画展を2回開催した。今後も、本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していくことが必要である。

・プラネタリウムは、親子でプラネタリウム、リフレッシュプラネタリウムやヒーリングプラネタリウム等来館者のニーズに合わせた番組、人気の高いエンターテインメント番組の上映とともに、SNS等を活用した周知を継続して、令和元年度までは高い水準で入館者数が推移していたが、令和2年度は年度当初より、新型コロナウイルス感染症対策の影響で長期番組を休止し、再開後は定員を半数(40人)としたため、令和元年度と比べ入館者数は、ほぼ半数に減少した。

・令和4年度開設予定の「本の森ちゅうおう(仮称)」では、郷土資料館と図書館との併設というメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

・時流をとらえたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブスにより、時間や場所を問わず多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図っていく。

・引き続き、多くの人が楽しめるプラネタリウム番組やイベントを実施するとともに、子どもたちの理科や科学、天体への興味を高めていくため、小学校3・4年生の学習投影内容の工夫をしたり、幼稚園、保育園の利用の促進を図る。

・「本の森ちゅうおう(仮称)」において、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料と地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図っていく。また、館内に整備する郷土資料館(仮称)では、資料をデジタル化し、ICTを活用した展示手法などを取り入れ、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討を進めていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	文化財の保護	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
文化財保護事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次世代への継承を図る。
- ・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

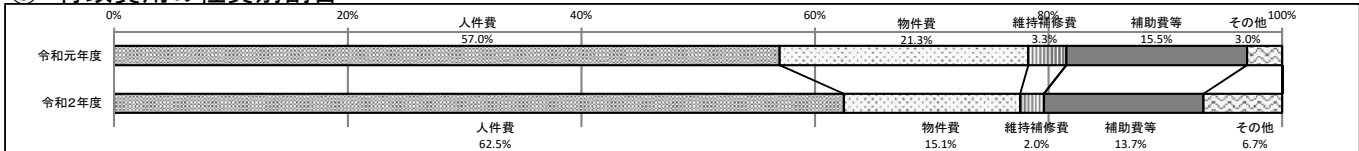
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	13,265,185	15,147,324	1,882,139	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	4,960,786	3,658,248	△1,302,538		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	760,100	492,030	△268,070		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	3,601,200	3,311,900	△289,300		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	172,220	69,160	△103,060
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		172,220	69,160	△103,060
	賞与・退職給与引当金繰入額	698,555	1,631,937	933,382	行政収支差額		△23,113,606	△24,172,279	△1,058,673
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		23,285,826	24,241,439	955,613	通常収支差額		△23,113,606	△24,172,279	△1,058,673
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△23,007,034	△24,172,279	△1,165,245
特別収入		106,572	0	△106,572	一般財源充当調整		24,269,033	24,582,245	313,212
特別収支差額		106,572	0	△106,572	再計(一般財源調整後)		1,261,999	409,966	△852,033

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・マイクロフィルム撮影委託 1,355,200円 ・出土遺物保存処理用薬品等購入 416,260円	決算額の主な内訳	・中央区民文化財保護奨励金 1,400,000円 ・文化財調査補助員謝礼 1,028,700円
主な増減理由	・文化財説明板設置減による物件費減 △1,302,538円	主な増減理由	・文化財調査補助員実績減による謝礼減 △289,300円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・文化財説明板設置工事 335,280円	決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 69,160円
主な増減理由	・文化財説明板設置工事実績減による工事費減 △424,820円	主な増減理由	・有償刊行物販売減による収入減 △103,060円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

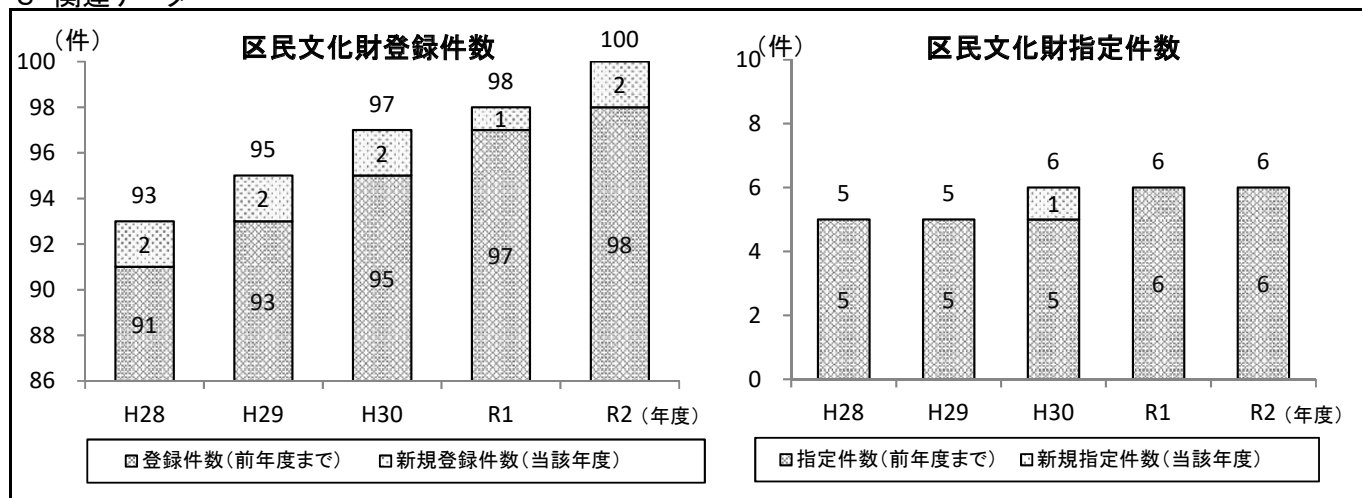
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	698,555	690,745	△7,810
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	11,072,012	10,579,245	△492,767
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	11,770,567	11,269,990	△500,577
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△11,770,567	△11,269,990	500,577
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・中央区民文化財として、新たに2件登録し広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財6件、登録文化財100件)
- ・文化財説明板を新規に2カ所設置した。文字による解説のほか図版を付け加え、英語表記を追加したことで、外国人観光客の文化財に対する理解を深めることができた。
- ・毎年、春と秋の2回実施している文化財めぐりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、秋の1回しか実施できなかった。地域の文化や歴史に対する啓発のために、春と秋の2回実施できるよう実施方法等を検討する。
- ・歴史的建造物については、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。歴史的財産の保護に向け、区民の文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。

② 今後の方向性

- ・有形・無形の文化遺産について文化財指導員の調査を進め、重要なものは、所有者への働きかけや助言をするなど区民文化財として登録・指定を促し、適切に管理するとともに、広報紙や常設展示、区ホームページ等で幅広く公開し、保護意識の普及・啓発を図っていく。
- ・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、文化財めぐり、まち歩きの実施等により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できる施策に取り組んでいく。
- ・文化財説明板の設置においては、図版や英語表記を適宜追加していく。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	都市間交流の推進	中事業2	中事業3
地域間交流の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげるため各都市と交流している。特に、友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むための一助となるよう「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

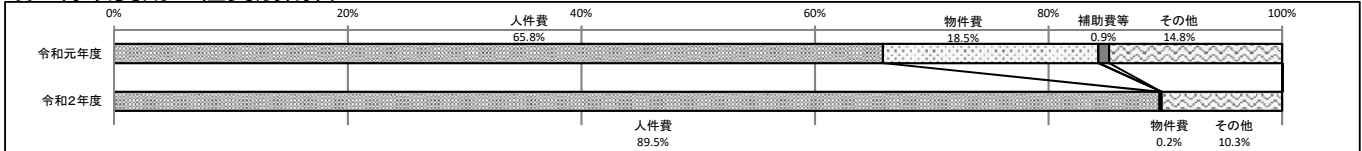
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,853,692	7,077,489	△776,203	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,202,357	14,064	△2,188,293		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	110,000	0	△110,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	380,000	0	△380,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	380,000	0	△380,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,766,367	815,969	△950,398	行政収支差額		△11,552,416	△7,907,522	3,644,894
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		11,932,416	7,907,522	△4,024,894	通常収支差額		△11,552,416	△7,907,522	3,644,894
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△11,552,416	△7,907,522	3,644,894
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		10,945,686	8,112,504	△2,833,182
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△606,730	204,982	811,712

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・都市間交流事業消耗品購入 6,332円 ・児童交歓会世話人会飲料購入 1,776円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・「児童交歓会」延期による参加者交通費・宿泊料等皆減 △978,042円 ・交流イベント中止による交流都市への訪問等旅費皆減 △345,298円 ・さくらんぼマラソン大会中止によるTシャツ・賞品購入費皆減 △302,940円	主な増減理由	・本栖湖神湖祭花火大会中止による後援協賛金皆減 △100,000円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・「児童交歓会」延期による参加者負担金皆減 △380,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



(単位:円)

資産対照表				負債対照表					
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	465,704	345,373	△120,331
固定資産	土地	0	0	0	固定負債	その他	0	0	0
	建物	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物	0	0	0		退職給与引当金	7,381,341	5,289,623	△2,091,718
	重要物品	0	0	0		その他	0	0	0
	インフラ資産	0	0	0		負債の部合計	7,847,045	5,634,996	△2,212,049
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	△7,847,045	△5,634,996	2,212,049
	その他	0	0	0		負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計		0	0	0					

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
さくらんぼ種飛ばし大会参加者数(人)	550	0(※1)	0(※4)
さくらんぼマラソン大会参加者数(人) (中央区オリジナルTシャツ申込者数※2)	12,594(35)	12,564(45)	0(※4)
児童交歓会参加者数(人・組)	35(19)	38(19)	0(※5)
〃 応募者数(人・組※3)	56(27)	44(22)	44(22)
東根市とのスポーツ少年団交流参加者数(人)	25	51	0(※4)

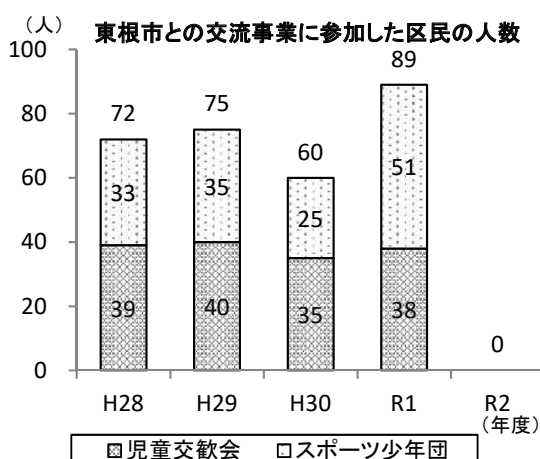
※1 雨天により中止

※2 対象は区内在住・在学・在勤者

※3 隔年で新規の募集を実施している(平成29年度・令和元年度)

※4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※5 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期



4 総括

① 現状・成果・課題

・新型コロナウイルス感染症による影響等により、友好都市・交流都市においてもイベントの中止や延期が相次いでいるほか、区が主催する大江戸まつり盆おどり大会の中止や児童交歓会の延期など、イベントを伴う交流事業の実施はなかった。

【令和2年度に中止となった各都市のイベントを伴う交流事業】

(山形県東根市) さくらんぼ種飛ばし大会、さくらんぼマラソン大会、ひがしね祭 (岡山県玉野市) たまの・港フェスティバル、玉野市80周年行事 (東京都檜原村) 払沢の滝ふるさと夏まつり (栃木県栃木市) とちぎ秋まつり (山梨県富士河口湖町) 本栖湖神湖祭

・友好都市の東根市については、例年実施しているさくらんぼ品評会の後援や区内幼稚園に対するさくらんぼ・りんごの配布など、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも可能な交流事業を継続的に実施している。

② 今後の方向性

・令和3年度にオンラインで開催をする「さくらんぼマラソン」の後援など、各都市の新型コロナウイルス感染症の状況に対応しながら実施が可能なイベントについて、交流事業としての協力を継続していく。また、中央区・東根市友好都市提携30周年を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも実施が可能な「友好都市展」にて、両都市の魅力や友好の歴史を紹介するパネル・物品展示を行うことで、交流事業への理解を深めるとともに、相互の来訪の契機とする。

・児童交歓会については、募集を実施した初年度は東根市に訪問、翌年度には東根市の参加者を中央区に受け入れているところであるが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れを中止としたため、東根参加者に区内名産品を送るとともに、中央区・東根市参加者同士のオンラインによる交流の推進など、参加者同士の友好関係の継続を促す。

令和3年度(令和2年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	平和事業の推進	中事業2	平和モニュメントの設置	中事業3	
平和推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区平和都市宣言(昭和63年3月15日告示)を記念して開始した「平和の^{まち}都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、日ごろから平和について考えるきっかけの場を提供するため、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業の実施を通じ、区民への平和意識の普及・啓発に努める。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,264,440	11,009,428	1,744,988	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	18,037,119	17,455,053	△582,066		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	20,411,620	0	△20,411,620		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	245,560	244,819	△741		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,027,257	2,027,257	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,889,712	1,269,285	△2,620,427	行政収支差額		△53,875,708	△32,005,842	21,869,866
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		53,875,708	32,005,842	△21,869,866	通常収支差額		△53,875,708	△32,005,842	21,869,866
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△53,875,708	△32,005,842	21,869,866
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		49,209,849	30,297,447	△18,912,402
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△4,665,859	△1,708,395	2,957,464

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費
決算額の主な内訳	・平和の都市の楽しい集い実施委託 8,453,665円 ・平和モニュメント完成披露式典実施委託 2,848,461円 ・小・中学校巡回平和展、平和展実施委託 2,461,800円	決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム有識者謝礼 225,000円 ・「平和の鐘」電気料金分担金 19,819円
主な増減理由	・平和祈念バーチャルミュージアムホームページ改修作業終了による委託料皆減 △5,456,000円 ・平和の都市の楽しい集い実施委託料増 3,995,465円 ・平和モニュメント完成披露式典の延期に伴う実施委託料等の増 1,204,231円	主な増減理由	・「平和の鐘」電気料金分担金減 △741円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・平和モニュメント設置工事皆減 △20,282,020円 ・「平和の鐘」ピラミッド修繕工事皆減 △129,600円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	543,321	537,246	△6,075
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	41,516,513	39,489,256	△2,027,257	退職給与引当金	8,611,565	8,228,302	△383,263
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	9,154,886	8,765,548	△389,338
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	32,361,627	30,723,708	△1,637,919
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	41,516,513	39,489,256	△2,027,257
資産の部 合計	41,516,513	39,489,256	△2,027,257				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 21,630,000円 ・平和の鐘 13,870,800円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 3,254,800円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・蛸殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和元年度	令和2年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	※0	※0
平和祈念バーチャルミュージアムアクセス数(件)	9,508	9,416
平和資料(写真)保存数累計(枚)	342	337
平和資料(物品)保存数累計(点)	273	281

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○各事業のアンケートの意見(抜粋)

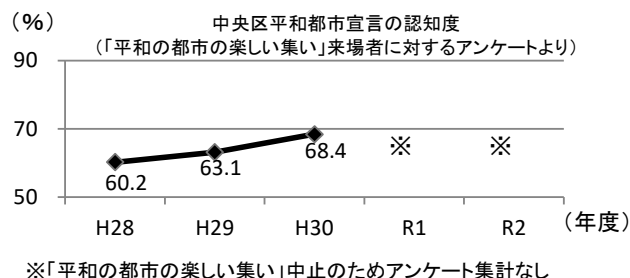
【平和展】

自分の住んでいる街も以前は焼野原であったことを知って驚きました。こういう記録はこれからも大切にしていきたいと思います。

【巡回平和展】

(児童・生徒) 二度と戦争をしないように、これから生きるぼくたちが活動しなければと思いました。

(先生) 終戦から75年、平和の尊さについての学習はとても大切なものです。実際に見たり聞いたりして考えを深めていく取り組みを継続していかなければ強く思います。



4 総括

① 現状・成果・課題

・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を毎年開催するとともに、平和祈念バーチャルミュージアムにおいて新しいコンテンツを毎年追加するなど、平和意識の普及・啓発を図るとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会の授業で活用してもらうことなどにより、平和について考える契機づくりに寄与している。

・令和2年7月に晴海第三公園に設置した平和モニュメントについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため完成披露式典を中止としたが、モニュメント紹介と原画作成児童によるインタビュー番組を制作し、ケーブルテレビ及びインターネットでのテレビ広報「こんにちは中央区です」内にて放送を行った。また、平和祈念バーチャルミュージアム内に紹介ページを公開するとともに、平和事業を紹介するチラシでも掲載を行うなど、あらためて平和事業の普及を図った。

② 今後の方向性

・悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される中、今後も平和に関する資料の収集・保存を進めるとともに、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を継続的に展開していく。

・令和元年度・2年度の「平和の都市(まち)の楽しい集い」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としたが、令和3年度については実施に向けて必要な措置を講じていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	国際交流の推進	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
国際交流の推進事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して区民の国際意識の向上と国際都市にふさわしい文化を育む。また、外国人向けの情報の充実や区民が主体となて行う国際交流事業を通じ、外国人区民が地域の文化や習慣に親しめる暮らしやすいまちにする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

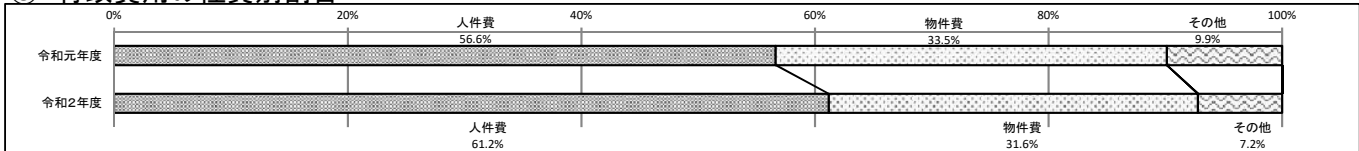
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,441,352	6,165,331	723,979	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	3,215,011	3,185,623	△29,388		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	948,959	725,306	△223,653	行政収支差額		△9,605,322	△10,076,260	△470,938
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小計		9,605,322	10,076,260	470,938	通常収支差額		△9,605,322	△10,076,260	△470,938
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△9,605,322	△10,076,260	△470,938
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		9,442,180	10,258,467	816,287
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△163,142	182,207	345,349

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・通訳・翻訳に係る人材派遣 3,145,340円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・通訳・翻訳に係る人材派遣経費の消費税増による役務費増 10,876円 ・筆耕翻訳実績減による役務費減 △41,800円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

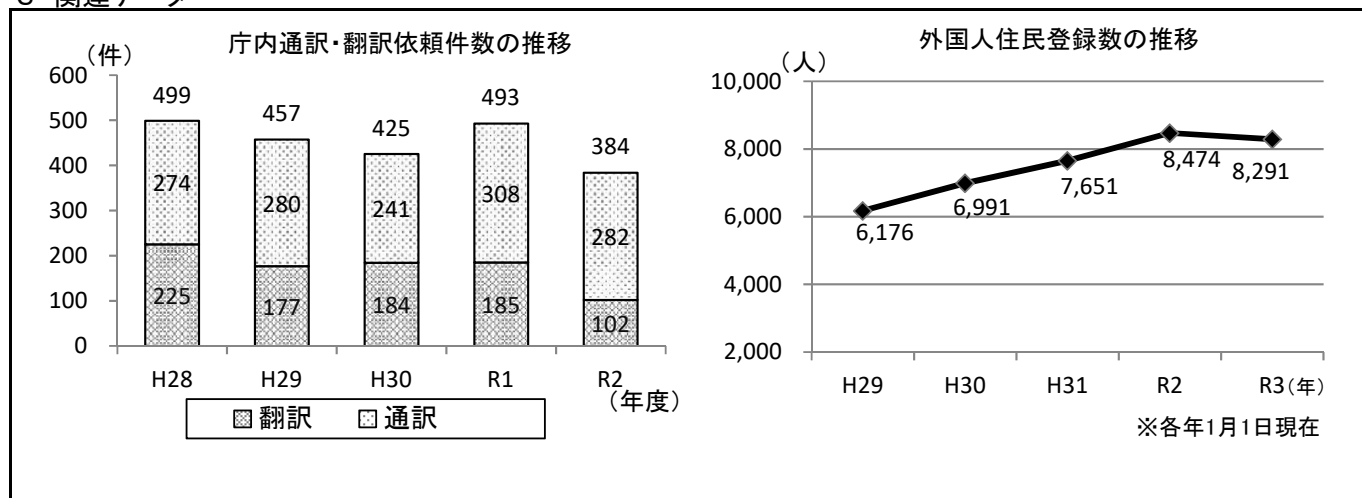
(単位:円)

勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	310,469	306,998	△3,471
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	4,920,894	4,701,887	△219,007
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,231,363	5,008,885	△222,478
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△5,231,363	△5,008,885	222,478
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事として代表团による訪問と受け入れを行っている。
 ・外国人からの各種相談は本区の行政サービスのほか、個人の身辺相談等多岐にわたっており、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、外国人からのさまざまな相談に対する案内を適切に行っている。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で外国人観光客や外国人住民登録数は減少しているが、引き続き、外国人観光客や区民の増加を見据えて、多様化・複雑化する相談内容への対応が必要となる。
 ・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすいまちづくりを進めている。(3年ごとに改定、直近は平成30年度。)

② 今後の方向性

・令和3年度は、サザランド市との姉妹都市提携30周年に当たるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度に延期することが決定している。
 ・引き続き、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、外国人からのさまざまな相談に対する案内を適切に行い、また、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。
 ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努め、令和3年度に改定する生活ガイドブックに反映させていく。

令和3年度（令和2年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	中事業2		中事業3	
「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちにしていけるために設立された中央区文化・国際交流振興協会（以下、「協会」という。）に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

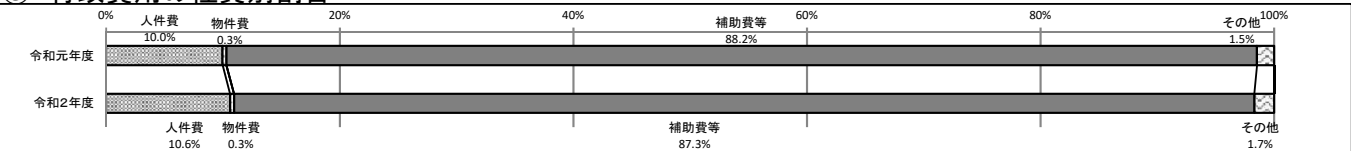
勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	11,519,926	10,789,331	△730,595	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	386,683	344,894	△41,789		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	102,021,901	88,756,569	△13,265,332		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	451,392	451,392	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,244,951	1,269,285	24,334		行政収支差額	△115,624,853	△101,611,471	14,013,382
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小 計	115,624,853	101,611,471	△14,013,382		通常収支差額	△115,624,853	△101,611,471	14,013,382
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△115,624,853	△101,611,471	14,013,382
特別収入		0	0	0		一般財源充当調整	115,641,318	101,478,941	△14,162,377
特別収支差額		0	0	0		再計（一般財源調整後）	16,465	△132,530	△148,995

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・協会助成金 88,756,569円	決算額の主な内訳	・新富分庁舎（協会分）451,392円
主な増減理由	・事業の中止・縮小等に伴う協会助成金減 △13,265,332円	主な増減理由	・増減なし

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 344,894円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・光熱水費実績減 △42,304円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

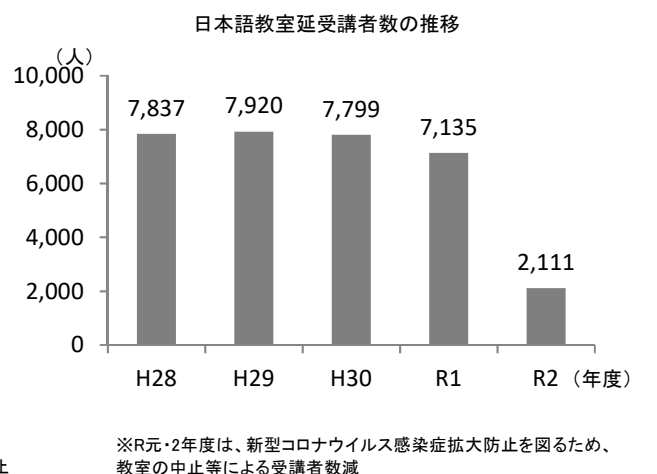
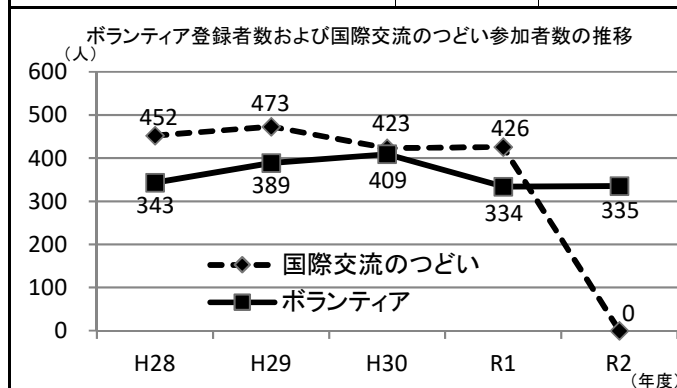
勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	659,747	537,246	△122,501
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	10,456,900	8,228,302	△2,228,598
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	11,116,647	8,765,548	△2,351,099
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△11,116,647	△8,765,548	2,351,099
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	決算額の 主な内訳	勘定科目	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和元年度	令和2年度
ボランティア新規登録者数(人)	38	7



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・文化振興事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため古典芸能鑑賞会は中止したが、文化講座やコンサートの開催、文化事業の助成を受けた7団体の内6団体は予定どおりまたは事業内容や実施方法を一部変更して実施した。感染症対策を行った上で実施したため区民が文化に触れる機会は前年より減ったが、区民主体で行われる文化活動に対し支援することはできた。
- ・国際交流振興事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「国際交流のつどい」は中止し、「国際交流サロン」は前年より開催数は減ったが、感染症対策を行った上で可能な範囲で開催し、異文化理解・相互理解を図った。
- ・日本語教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数が減ったことにより受講者数は減少したが、日本語ステップアップ講座をオンラインによる開催や録画配信を行い、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図った。引き続き、曜日や実施時間によっては抽選となることから、より多くの外国人区民に受講してもらうためには実施場所等について検討していく必要がある。
- ・協会登録のボランティアは、新規登録者数は減っているが、登録者数においては前年と同程度で推移している。また、ボランティア派遣は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う事業の中止等により派遣機会は減ったが、ボランティア研修会を会場での受講や録画配信により実施し、ボランティア活動支援を図った。引き続き、保健センターで実施している1歳6か月児健診等での通訳のほかに活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を強化していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・区民が文化に触れる機会をより多く持つため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。
- ・協会が実施する「日本語教室」をはじめとする国際交流事業について、実施場所の検討や日本語教室の受講機会を増やすため、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、外国人区民等を対象とする各種国際交流事業に対し支援していく。
- ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き支援を行っていく。

